取扱説明書

パーソナルDVD テレビシステム

型名 LT-15DV1

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

・もくじは 2 ページにあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0736-001B

もくじ

お使いになる前に　ページ

予備知識　ページ

準備する　ページ

共通操作　ページ

テレビを見る　ページ

とりあえず、カンタンDVD操作　ページ

いろいろな再生のしかた　ページ

他の機器を接続する　ページ

いろいろな設定をする　ページ

ご参考に　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

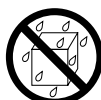
注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

接触禁止

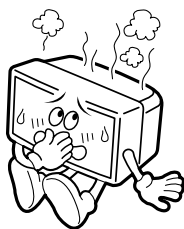
一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

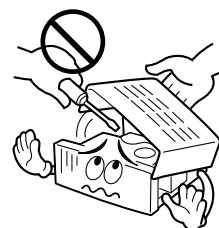
- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

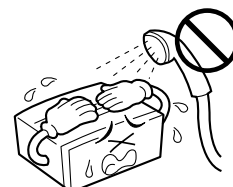
電源プラグを抜く

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

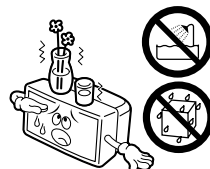
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

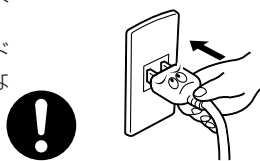
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

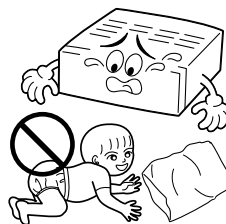
火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This unit is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

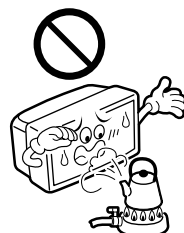
頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

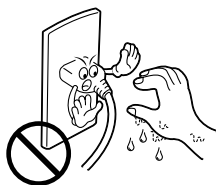
電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

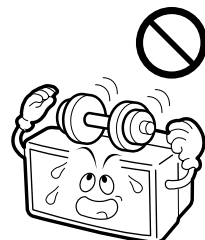
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

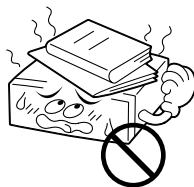
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

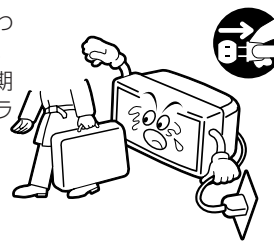
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

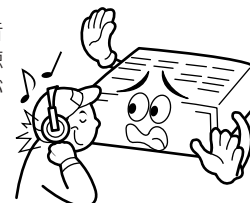
感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かない。

重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

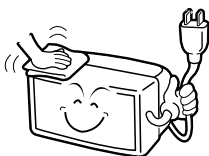
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから 10㎝以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

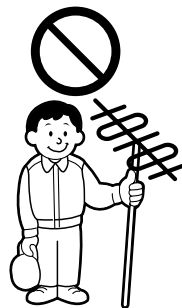
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

⚠注意

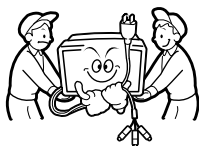
お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

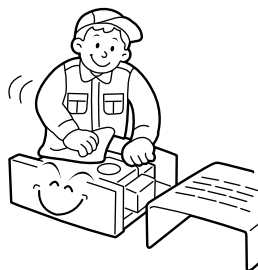
アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

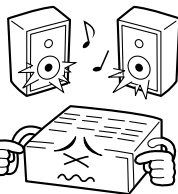
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入時に、手を挟まれないようにする。

閉まるときディスクカバーに手を挟まれ、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

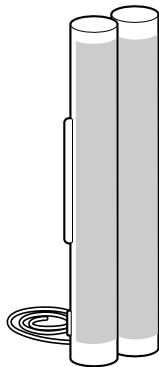
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

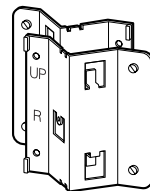
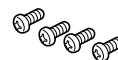
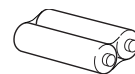
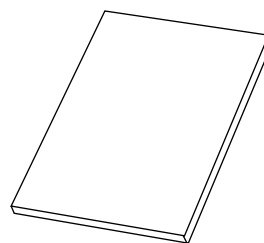
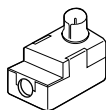
付属品

本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

・スピーカー（2 本）

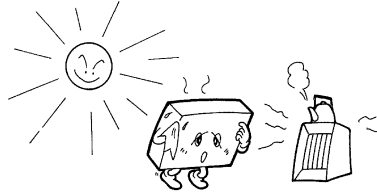
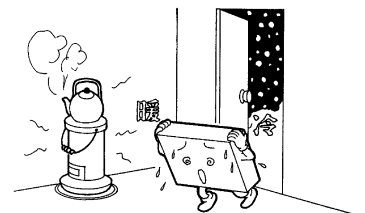
・スピーカースタンド（2 セット）

・リモコン：RM-SLT15DV1（1 個）

・アンテナコネクター（1 個）

・ブラケット（2 個）･･･スピーカー取り付け用金具

・ブラケット取り付けネジ（4 本）

・単 3 形乾電池（2 本）･･･リモコン動作確認用

・取扱説明書（1 冊）

使用上のご注意

本システムの置き場所について

・ 本機は5℃から35℃までの温度で使用できるように設計されています。これを超える温度の環境で使用すると、誤作動したり、故障の原因となります。特に、次のような環境は避けてください。

・湿気やほこりの多い所

・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて**DVD**や**CD**などが正しく演奏できない場合があります。

• 暖房を始めた直後
• 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
• 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、1〜2時間待ってからお使いください。

商標と著作権

● 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビーデジタル、VIRTUAL DOLBY DIGITAL、Dolby、ドルビー、およびダブル D 記号 DDは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。
● 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
dts DIGITAL OUT、DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
著作権 1996 年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
● BBE は BBE Sound 社の登録商標です。
● 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解 、リバースエンジニアリングは禁止されています。
● ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
● DVD ビデオのロゴは商標です。

各部の名前

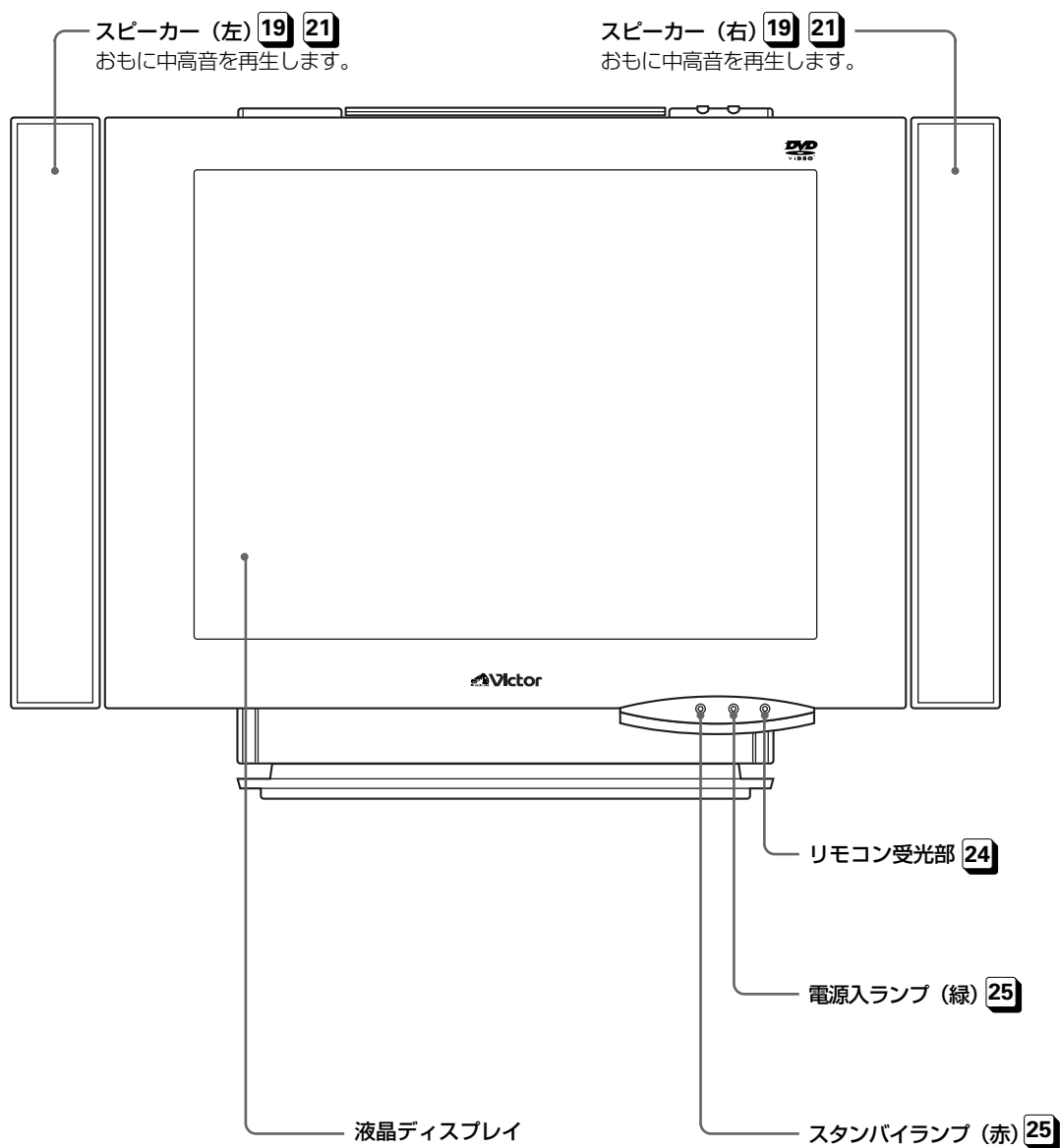
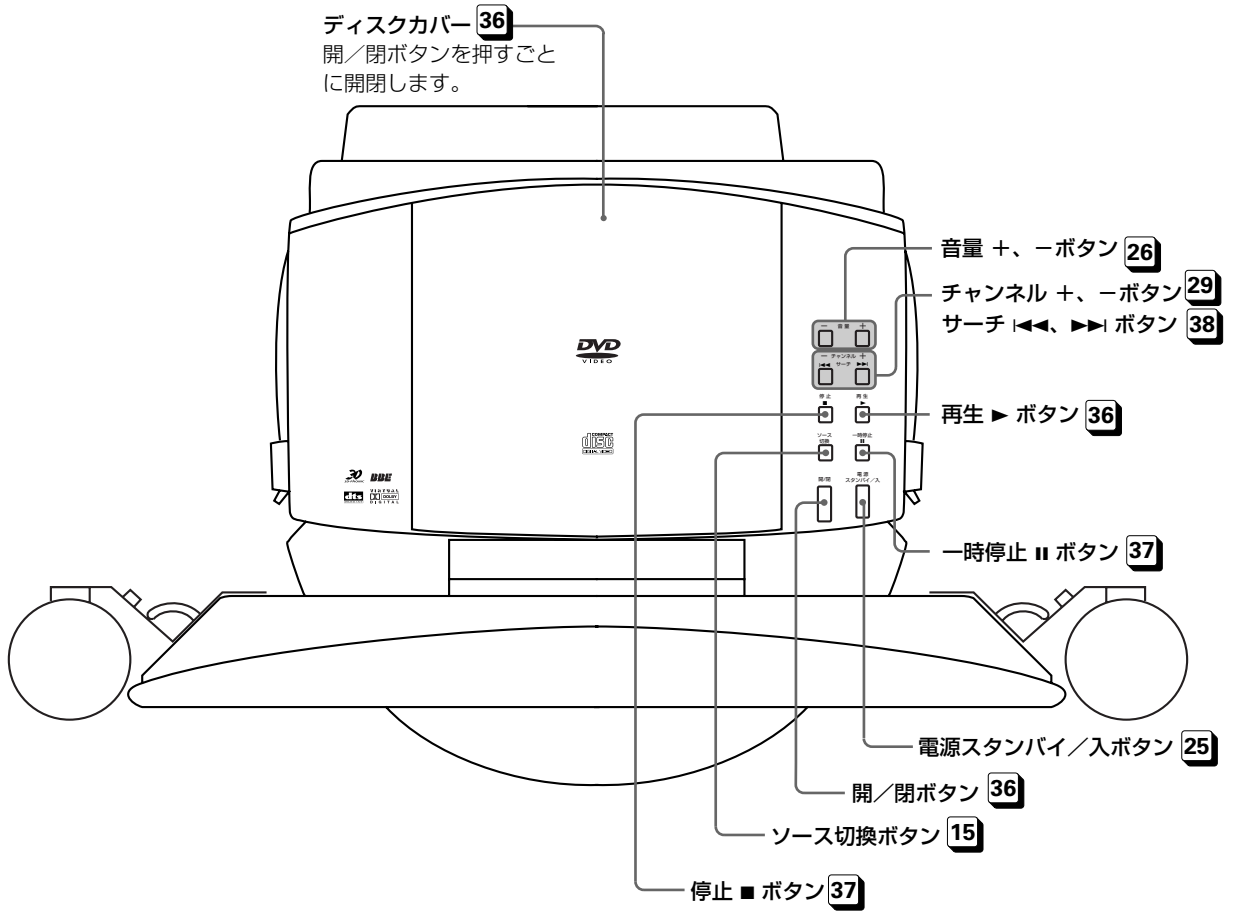
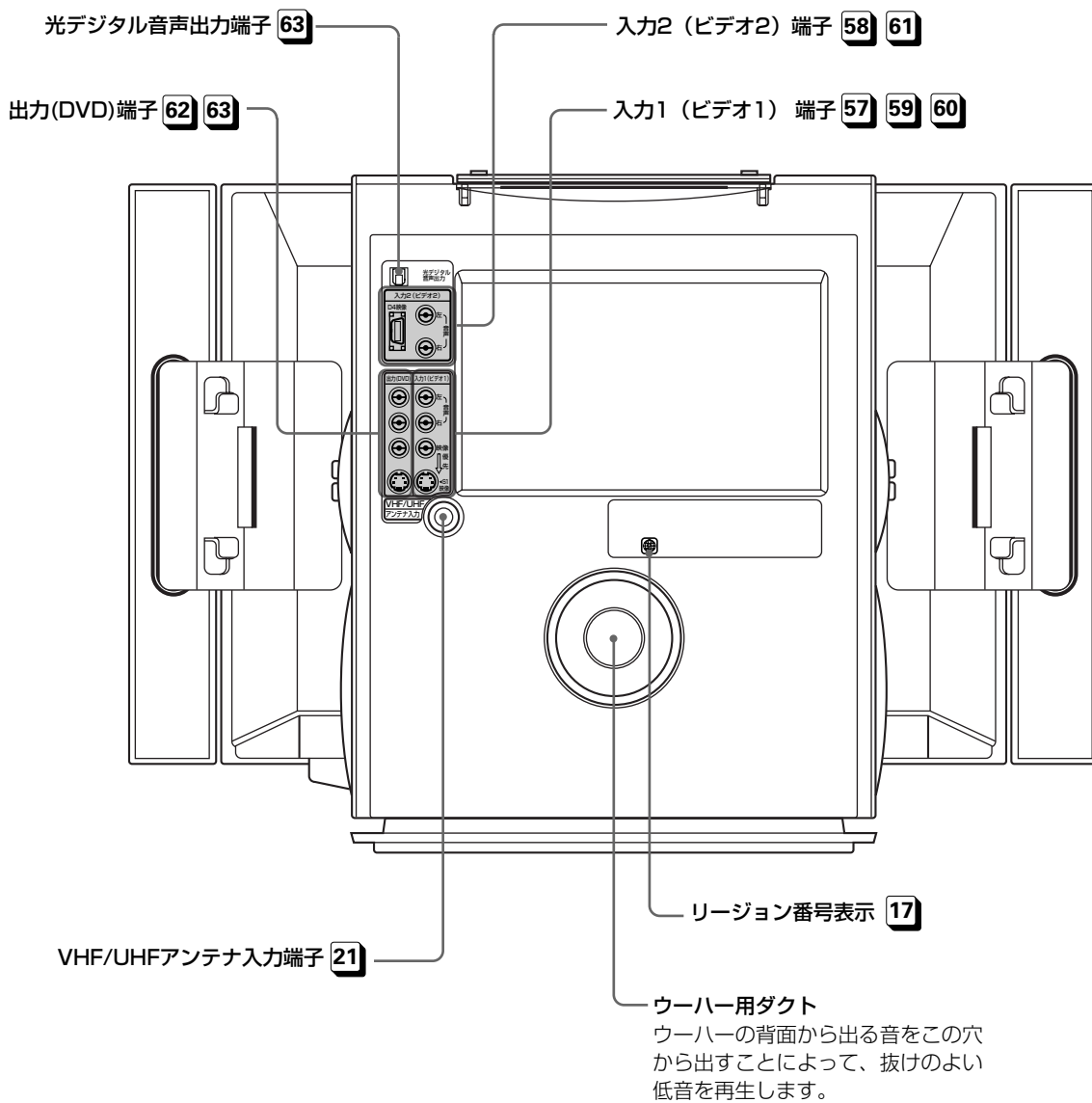
❏ 内の数字のページに説明があります。

前面

上面

ディスクカバー 36
開／閉ボタンを押すごとに開閉します。
音量 +、−ボタン 26
チャンネル +、−ボタン 29
サーチ |◀◀、▶▶| ボタン 38
再生 ► ボタン 36
一時停止 II ボタン 37
電源スタンバイ／入ボタン 25
開／閉ボタン 36
ソース切換ボタン 15
停止 ■ ボタン 37
DVD VIDEO

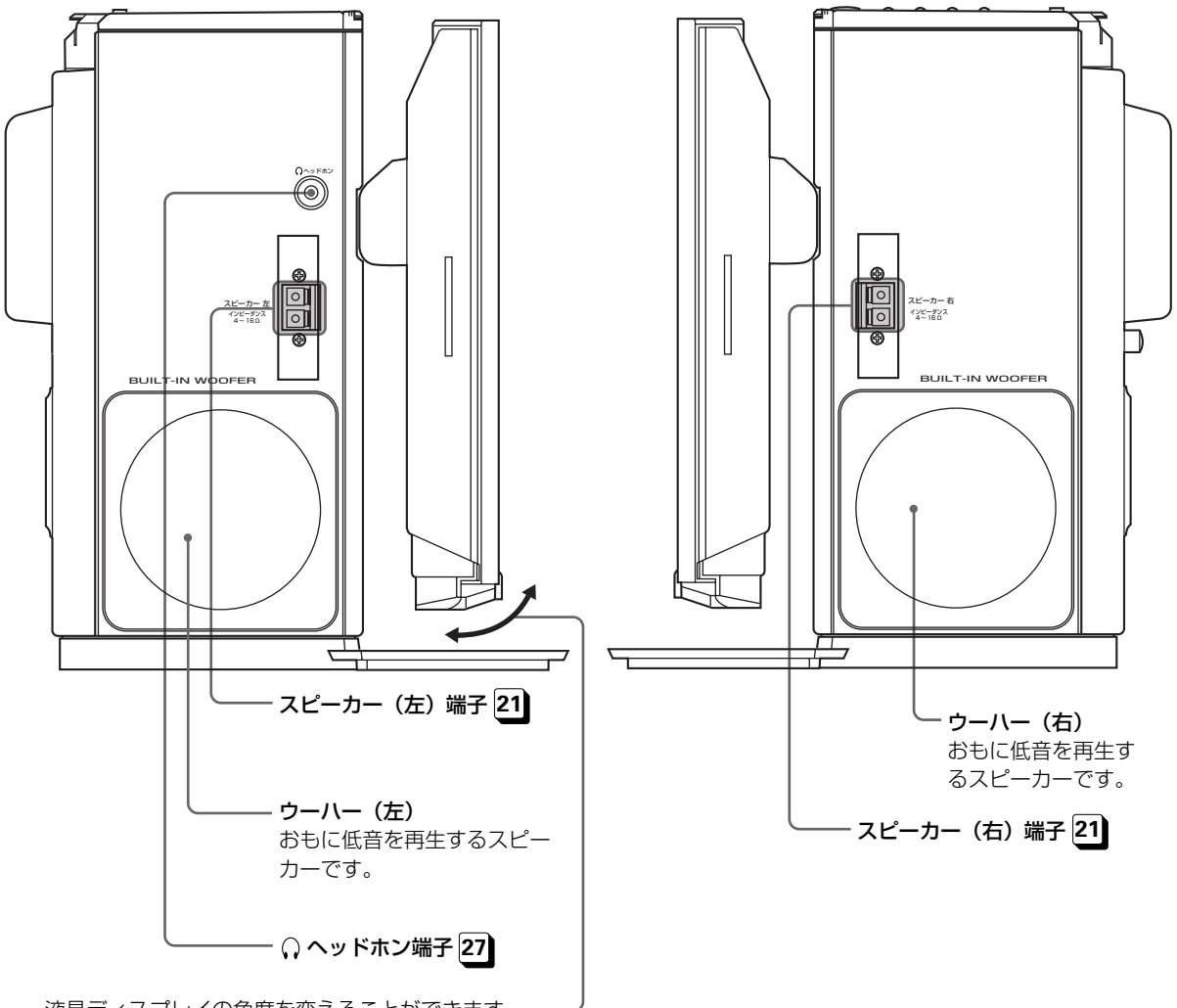
背面

ウーハーの背面から出る音をこの穴から出すことによって、抜けのよい低音を再生します。

左側面
（スピーカーを取り外した状態）

右側面
（スピーカーを取り外した状態）

スピーカー（左）端子 21

ウーハー（左）
おもに低音を再生するスピーカーです。

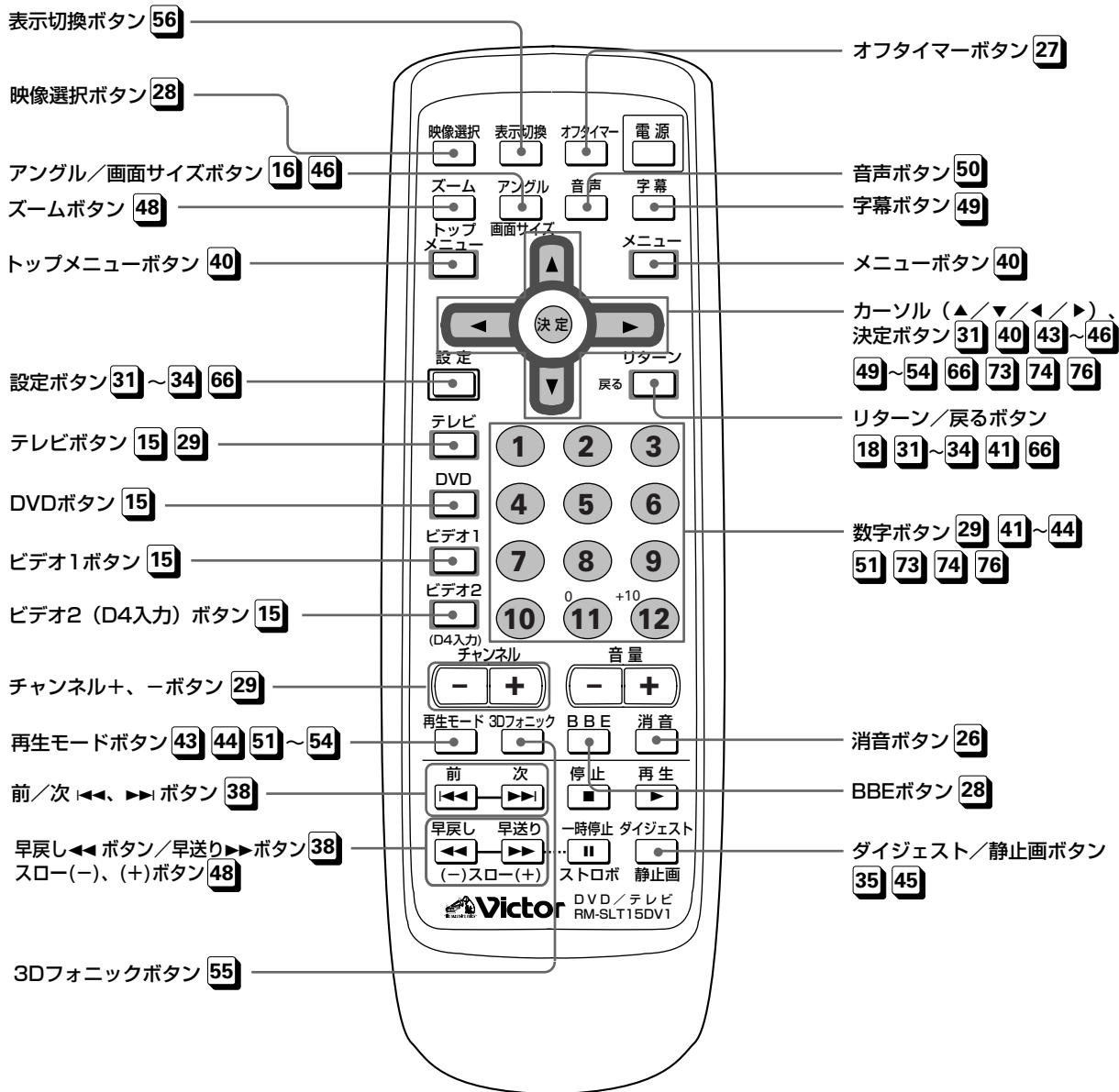
ヘッドホン端子 27

液晶ディスプレイの角度を変えることができます。
見やすい角度にしてお使いください。

ウーハー（右）
おもに低音を再生するスピーカーです。

スピーカー（右）端子 21

お知らせ
- ウーハーは5.1chのLFE（低域成分）用のスピーカーではありません。

リモコン

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

操作上の予備知識

本機を操作する上で、あらかじめ知っておいていただきたいことがらを説明します。（☞で示されたページは関連する説明のあるページです）

オンスクリーン画面

本機は状況に応じてディスプレイ上にさまざまな画面を表示します。これを「オンスクリーン画面」といいます。オンスクリーン画面を使うと各種設定や機能選択をすることができます。

オープニング画面(DVD 操作時)

電源を入れて、ソース（音源）を DVD にした直後などに自動的に表示されます。
状況に応じて、以下のメッセージが下部に表示されます。

NOW READING

- NOW READING（ナウ リーディング）：ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
- リージョン コード エラー!：リージョンコードが違うため、このDVD を再生できません。☞ 17
- OPEN（オープン）：ディスクカバーを開きます。
- CLOSE（クローズ）：ディスクカバーを閉じます。
- DISC（ディスク）が入っていません

その他のオンスクリーン画面については、各操作のページで説明します。

ソース(音源)について

リモコン

テレビ　DVD　ビデオ1　ビデオ2（D4入力）
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

いずれかのボタンを押す

本　体

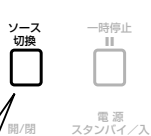
テレビを見るときは…

リモコンから
テレビボタンを押します。画面にテレビのチャンネル番号が表示されます。

本体から
本体のソース切換ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります。ソース(音源)にテレビが選択されると、画面にテレビのチャンネル番号が表示されます。

DVD を再生するときは…

リモコンから
リモコンの DVD ボタンを押します。画面に「DVD」と表示されます。

本体から
本体のソース切換ボタンを押すごとにソース(音源）が切り換わります。ソース(音源）が DVD になると、画面に「DVD」と表示されます。

接続されている外部機器（AV機器やBSデジタルチューナー）に切り換えるときは…

リモコンから
外部機器が入力1（ビデオ1 ）に接続されているときはビデオ 1 ボタンを、入力2 (ビデオ2)に接続されているときはビデオ2 (D４入力)ボタンを押します。ディスプレイに、選ばれた入力名が表示されます。☞ 16

本体から
本体のソース(音源)切換ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります。ディスプレイに、選ばれた入力名が表示されます。☞ 16

ビデオ1、またはビデオ2を選択したときの画面表示について

使用する端子や入力する信号の種類などにより画面表示が異なります。

ビデオ 1 を選択したとき

画面表示	状態
ビデオ 1	映像端子のみを使用しているとき
S 入力	S1映像端子に接続して、アスペクト比 4:3 画像の信号を入力したときや無信号のとき
S1 入力	S1映像端子に接続して、アスペクト比 16:9 画像の信号を入力したとき

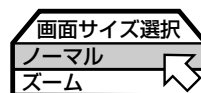
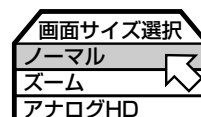
ビデオ 2 を選択したとき

画面表示	状態
ビデオ 2	走査線数 525 本のインターレース信号や下記以外の信号を入力したときや無信号のとき
525P	走査線数 525 本のプログレッシブ信号を入力したとき
1125I	走査線数1125本のインターレース信号を入力したとき
750P	走査線数 750 本のプログレッシブ信号を入力したとき

また、画面サイズを以下の方法で切り換えることができます。

■ ソース（音源）がビデオ 1 またはビデオ 2 のとき

1　アングル／画面サイズボタンを押す

- 画面サイズ選択画面が表示されます。
- 画面は 5 秒間表示されます。

※ビデオ 2 の入力が 1125I(1125i)のときは、以下の画面が表示されます。

2　アングル／画面サイズボタン、またはカーソル（▲/▼）ボタンを使って画面サイズを選ぶ

ちょっとひと言

- 1125I(1125i)のときの「アナログ HD」は、画面上部の黒い部分が気になる場合に使います。
- ソース（音源）が DVD やテレビのときは画面サイズは切り換えられません。
- 画像を静止画にしているときは画面サイズを切り換えることはできません。☞ 35

著作権の侵害について

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能を利用して、画面の引き伸ばしを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下の通りです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVD ビデオ DVD VIDEO	音声＋映像	12 センチ	約4時間（片面 2 層）
			約8時間（両面 2 層）
		8 センチ	約80分（片面 2 層）
			約160分（両面 2 層）
ビデオ CD VIDEO CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声＋映像	12 センチ 8 センチ	74 分 20 分
オーディオ CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12 センチ 8 センチ	74 分 20 分

- **音楽用の CD フォーマットで記録された CD-R および CD-RW ディスクも再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては、再生できないこともあります。**
- **DVD の DTS 音声にはデジタル出力のみ対応しています。本機のスピーカーから音声を再生する場合は、ドルビーデジタル音声を選んでください。**

再生できないディスク

・DVD-ROM ・DVD-RAM ・DVD-R ・DVD-RW ・CD-ROM ・フォト CD ・DTS-CD

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。
CD-G、CD-EXTRA、CD TEXT の場合、音声のみ再生できます。

リージョン番号について

DVD にはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号が DVD プレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。
本機のリージョン番号は「2」ですので、DVD のディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

・本機で再生できるディスクの表示例

テレビ方式について

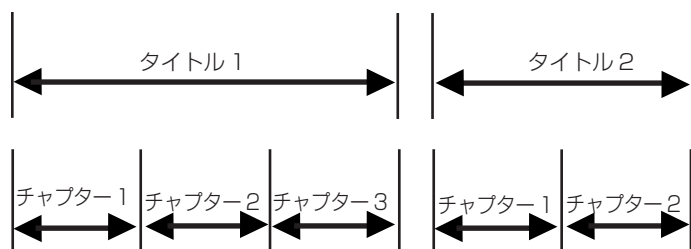
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式である NTSC に適合しています。ヨーロッパなどのテレビ方式（PAL（パル）、SECAM（セカム））用のディスクは再生できません。

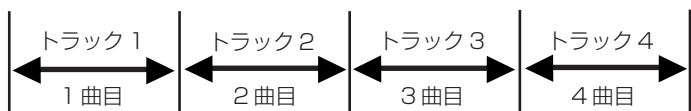
お知らせ

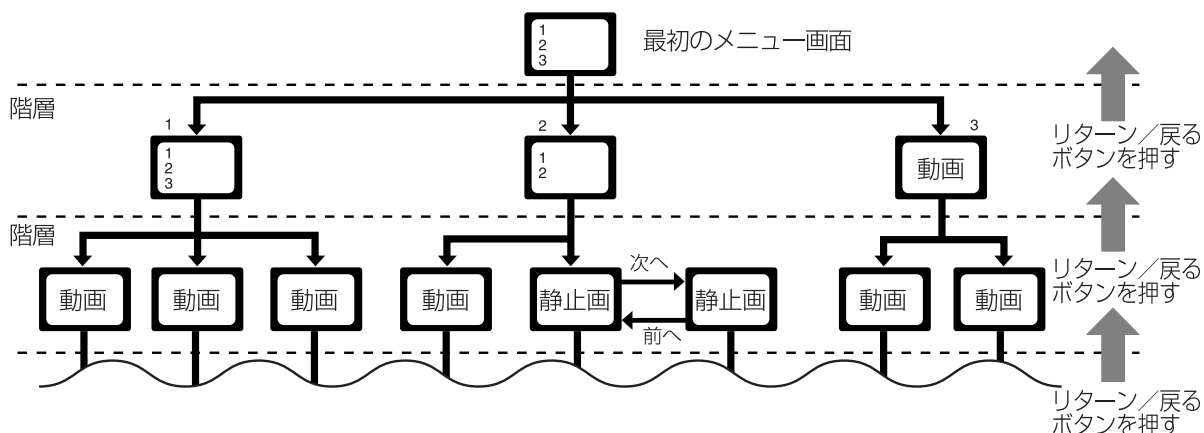
●**操作中に ⊘ が表示されたら…**
操作をしたときに ⊘ （ディスプレイ右下に出る赤いマーク）が表示されたら、その操作は無効です。ディスクによっては ⊘ が表示されなくても操作が無効となることもあります。ディスクによって早送り、早戻し、スローモーション再生などいくつかの操作ができないように収録されたディスクがあります。この場合も操作が無効となります。
●DVD およびビデオ CD は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。

ディスクの構成

一般的にDVDソフトは、タイトルと呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付いていて、お望みのタイトルがすぐに選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター（章）という小さな項目によって構成されています。それぞれのチャプターには番号（チャプター番号）が付いていて、お望みのチャプターがすぐに選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

DVD 映画作品の構成の例

一般的にオーディオ CD は、トラックという呼び名で 1 曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付いています。たとえば 2 曲目を指す場合には、「トラック 2」となります。ビデオ CD のカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

オーディオ CD、ビデオ CD の例

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能

ビデオ CD のプレイバックコントロール機能（以下 PBC）には、「高精細静止画機能」と「メニュー再生機能」があります。
「高精細静止画機能」は、ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の 4 倍以上の解像度で静止画像を再生します。
「メニュー再生機能」は、ディスクの内容をいくつかの階層に分けて収録し、画面の指示にしたがって階層を進みながら再生していきます。PBC 対応のディスクを再生すると、通常の場合は、最初にメニュー画面を表示します。画面に表示された項目や番号を選んで次の画面に進んでいきます。
PBC 対応のディスクでも、PBC を機能させずに収録されているトラックを連続して再生することもできます。
メニュー再生機能の基本的な流れは、下図のようになります。

スピーカーを設置する

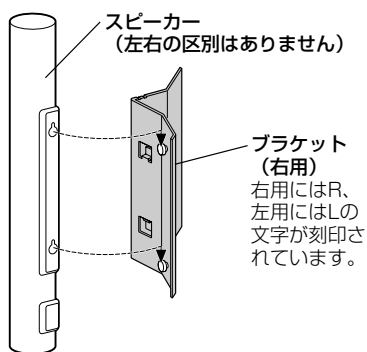
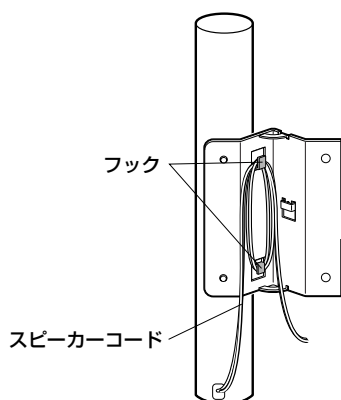
本機のスピーカーは、スピーカースタンドを取り付けて、机などの上に置くか、またはブラケットで本体に固定することができます。

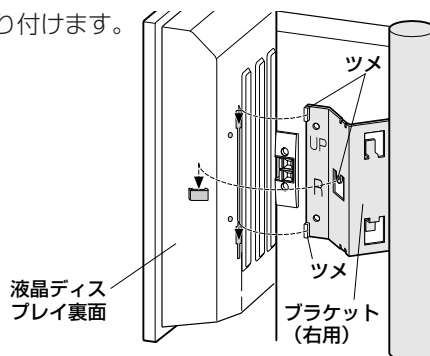
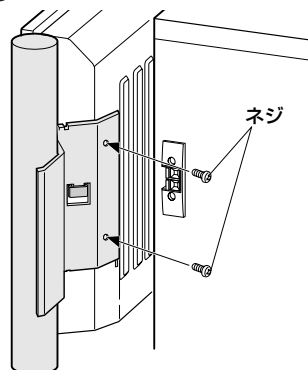
ご注意

- 本スピーカーは、特性が合いませんので、本機以外の機器には使えません。

スピーカーを本体に固定する場合

付属のブラケットを使ってスピーカーを本体に固定することができます。
付属のスピーカースタンドを取り付ける必要はありません。なお、ここでは右側のスピーカーを取り付ける手順を説明しますが、左側も同様にして取り付けてください。

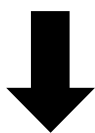
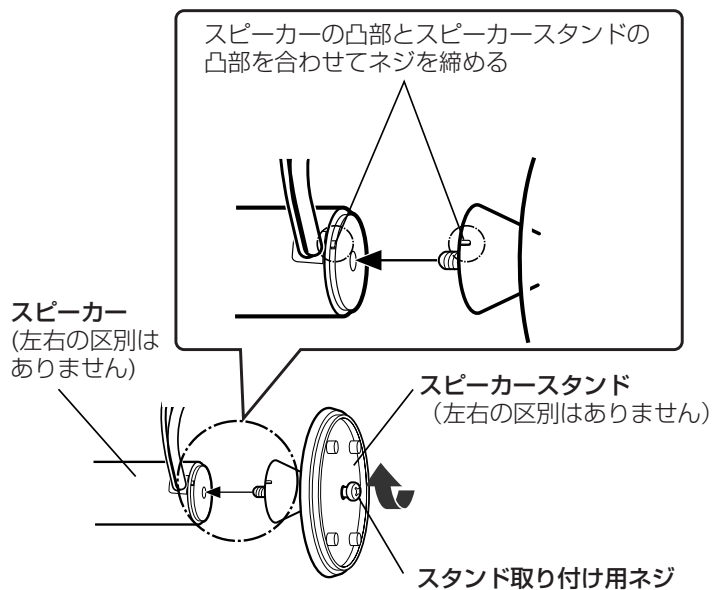
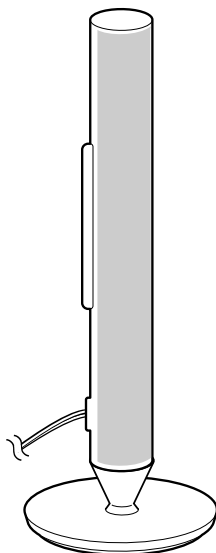
1 スピーカーをブラケットに取り付ける

2 余分なスピーカーコードをブラケットのフックに巻き付ける

3 ブラケットを取り付ける

ブラケットのツメ（3ヶ所）を液晶ディスプレイ裏面の切り欠き部に合わせて、下図のように取り付けます。

4 付属のネジ（2本）でブラケットを固定する

ご注意

- 本体の破損防止のため、ネジは必ず付属のもの（ø3 mm x 8 mm)をお使いください。
- 大音量時のビリつき（振動）防止のため、ネジはしっかりと締めてください。
- 液晶ディスプレイの前面には触れないでください。画面にキズをつけるおそれがあります。

スピーカーを机などの上に置く場合

スピーカーを本体と離して置くには、スピーカーにスピーカースタンドを取り付けてください。

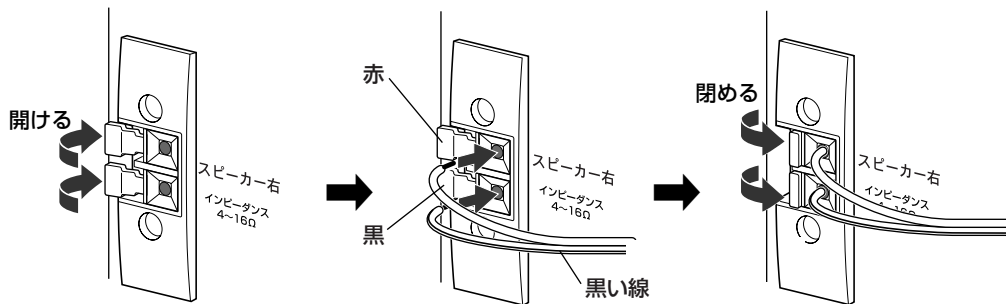
1　スピーカースタンドをスピーカーに取り付ける

完成図

接続する

スピーカーコードを接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各コード、各プラグは確実に接続してください。不完全な接続は雑音が出たり、音や映像が出ないなどの原因となります。

1　スピーカーコードをスピーカー端子に接続する

スピーカーコードは、黒い線が入っている方を－(マイナス)端子（黒い端子）に接続します。

接続の確認
スピーカーコードを軽く引いても抜けないことを確認してください。

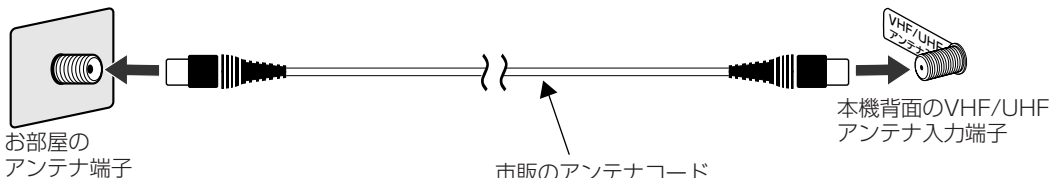
VHF/UHFアンテナを接続する

テレビ放送を受信するために、VHF または UHF アンテナを本機に接続します。

あらかじめお部屋に VHF/UHF アンテナが配線されていることをご確認ください。

お知らせ

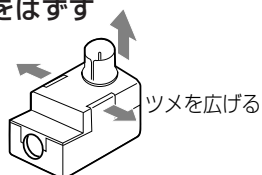
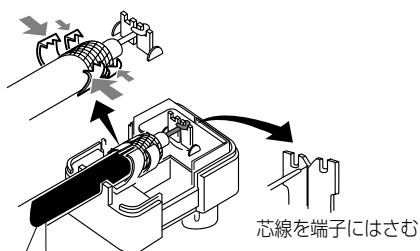
- アンテナを設置する際は妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するように依頼してください。
- アンテナは定期的に点検･交換してください。特にばい煙や潮風のあるところでは、痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

1　お部屋のアンテナ端子と本機のVHF/UHFアンテナ入力端子をつなぐ

アンテナ端子の形状が合わなくて、アンテナコードが取り付けられない場合は、販売店にご相談ください。

先がバラ（芯線がむき出しの状態）の同軸ケーブルを使うには

（古いテレビからつなぎ換える場合など）

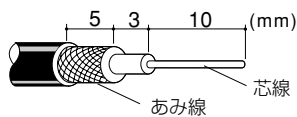
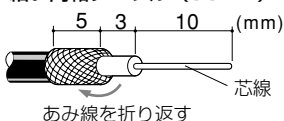
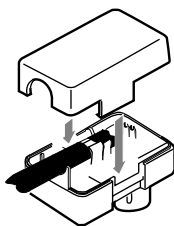
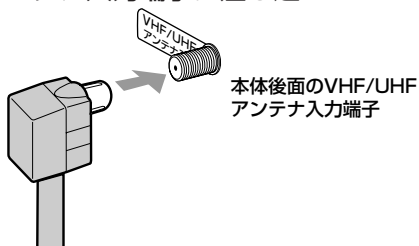
同軸ケーブルに、付属のアンテナコネクターを次の手順で取り付けます。

1 アンテナコネクターのカバーをはずす

2 同軸ケーブルをつなぐ

同軸ケーブルは、あらかじめ工具（ニッパーなど）を使って図のように加工しておいてください。

太い同軸ケーブル（5C-2V）

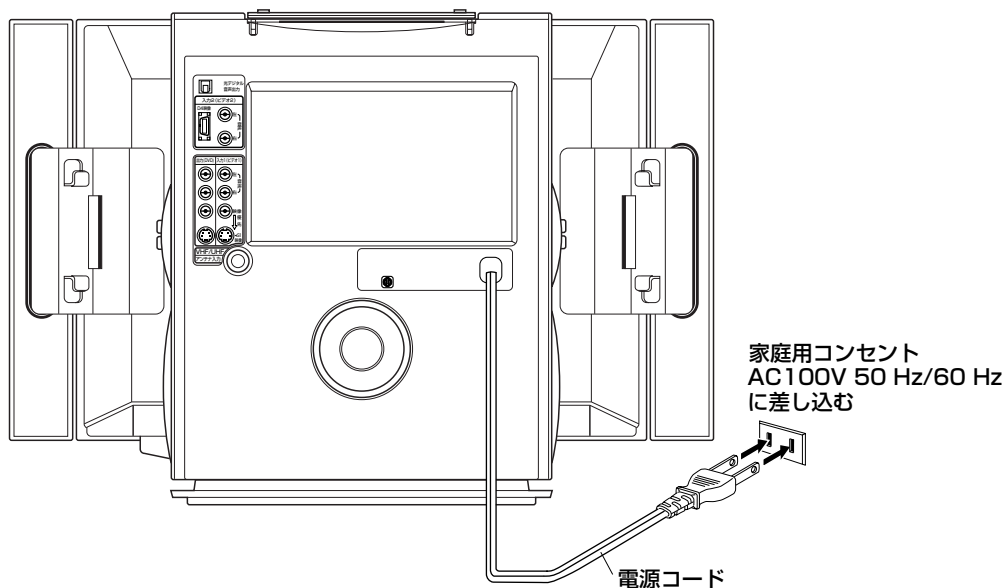
5　3　10　(mm)
あみ線　芯線

細い同軸ケーブル（3C-2V）

5　3　10　(mm)
あみ線を折り返す　芯線

3 カバーをつける

4 本体背面のVHF/UHFアンテナ入力端子に差し込む

電源コードをコンセントに差し込む

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込みます。

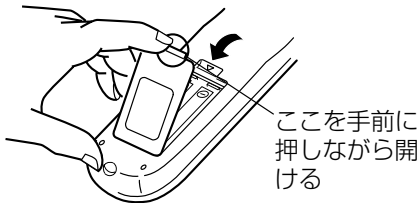
1 電源コードを家庭用コンセントに差し込む

本体前面のスタンバイランプ（赤）が点灯します。この状態を「スタンバイ状態」といいます。

お知らせ

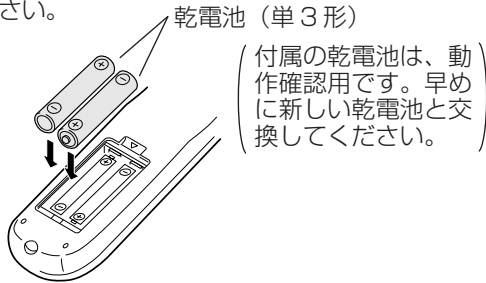
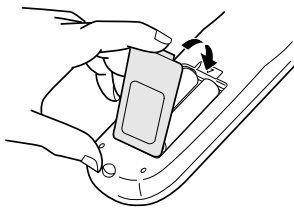
- 本機は、電源を「切（スタンバイ）」にしていても、わずかな電流が流れる設計になっています。長期間お使いにならないときは安全および節電のため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

リモコンについて

リモコンに乾電池を入れる

1 裏ブタを開ける

2 乾電池（単３形）２本を入れる

＋/－の向きがリモコン内部に表示されていますので、それに合わせ正しい向きに入れてください。

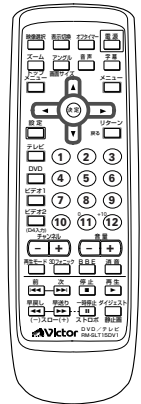
（付属の乾電池は、動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）

3 裏ブタを閉める

お知らせ

- リモコンで操作できる範囲がせまくなってきたり、本体に近づけないと操作できないときは、乾電池の交換時期です。
  ２本とも新しい乾電池（単３形）と交換してください。使用頻度によって変わりますが、寿命は半年程度です。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。

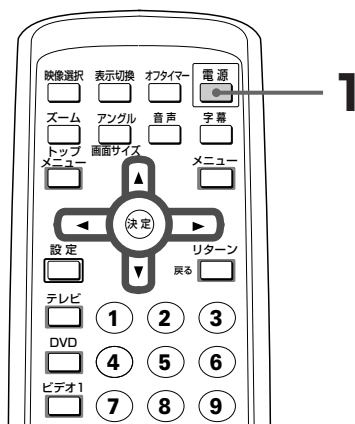
操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。
次のような場合、リモコンが操作できないことがあります。

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
- 斜めから操作したとき
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があるとき

共通操作

すべてのソース（音源）に共通する操作を説明します。

電源を入れる／切る

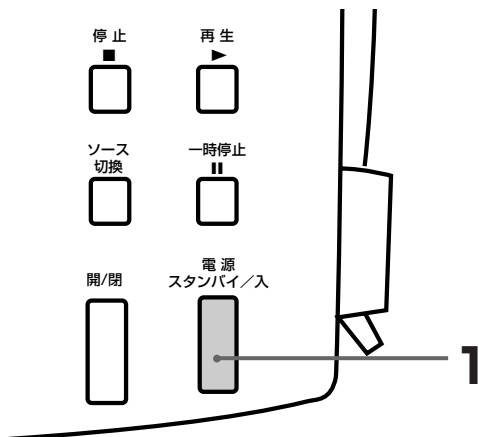
リモコン

本 体

■ 電源が「切（スタンバイ)」の状態で

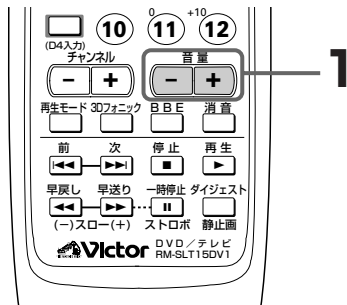
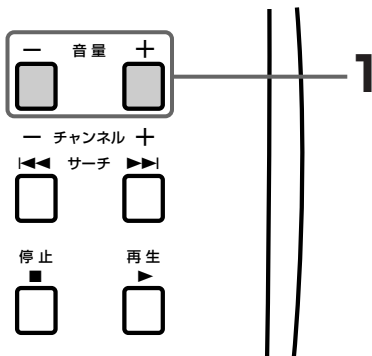
1 **リモコンの電源ボタンまたは本体の電源スタンバイ／入ボタンを押す**

電源が入り、本体前面のスタンバイランプ(赤)が消えて電源入ランプ（緑）が点灯します。
もう一度押すと電源が切れ、電源入ランプが消えスタンバイランプが点灯します。

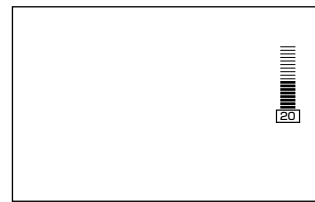
イチ押し操作

- リモコンまたは本体の再生 ► ボタンを押して電源を入れることができます。このとき、ディスクが入っていると再生が始まります。
- リモコンのテレビ、DVD、ビデオ 1、またはビデオ2ボタンを押して電源を入れることもできます。
- また本体の開／閉ボタンを押したときも電源が入り、ディスクカバーが開きます。

音量を調節する

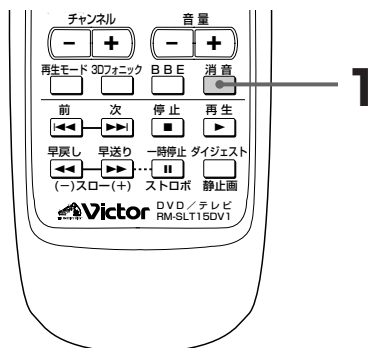
リモコン

本　体

■ 電源「入」の状態で

1 リモコンまたは本体の音量ボタンを押す

- ＋ボタンを押すと音が大きくなり、－ボタンを押すと小さくなります。音は０（消音）～50の間で調節できます。押し続けると音量を連続して変えられます。
- 調節した音量はディスプレイに2秒間表示されます。

（例）

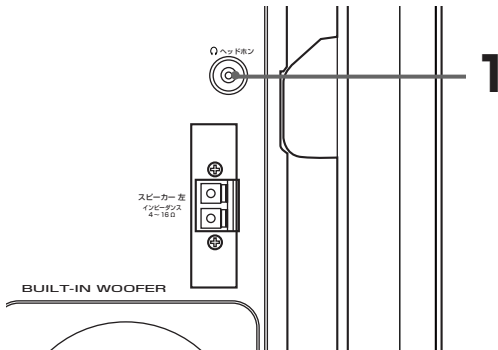
急いで音を消す[消音]

電話がかかってきたときなど便利です。

■ 電源「入」の状態で

1 リモコンの消音ボタンを押す

音が消え、ディスプレイに「消音中」と表示されます。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

消音中に電源を切ると、消音は解除されます。次に電源を入れたときは、元の音量に戻ります。

ヘッドホンを使う

■ いつでも

1　ヘッドホン端子に市販のヘッドホンのプラグを差し込む

- プラグを接続すると、スピーカーおよびウーハーから音が出なくなります。
- プラグを抜き差しするときは、音量を下げてください。

オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。テレビやDVDを見ながら寝てしまいそうなときに使うと便利な機能です。

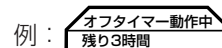
■ 電源「入」の状態で

1　リモコンのオフタイマーボタンを押す

- オフタイマー設定画面が表示されます。

オフタイマー設定画面

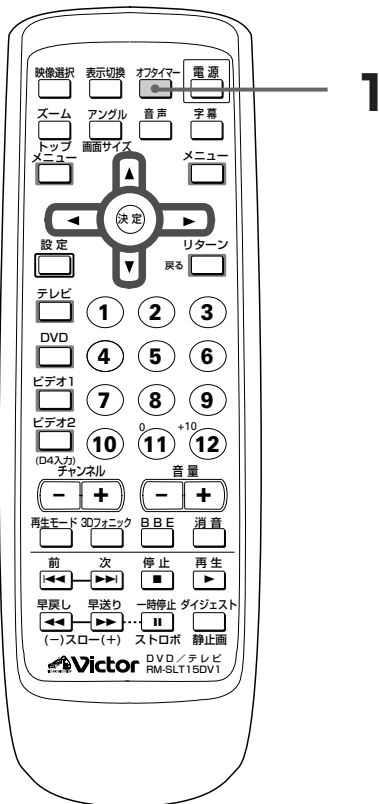
- オフタイマーボタンを押すごとに設定時間が変わります。
- 画面は設定後５秒間表示されます。
  その後すぐに残り時間が表示されます。

例：オフタイマー動作中
残り3時間

残り時間表示を消すには

もう一度オフタイマーボタンを押します。

残り時間は、電源が切れる3分前になると自動的に表示されます。

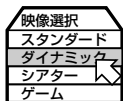
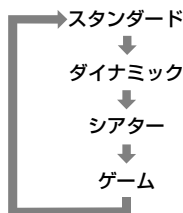
オフタイマーを再設定、または解除するには

オフタイマーボタンを押し、オフタイマー設定画面を表示させてから、時間を選び直してください。

お好みの映像に調節する [映像選択]

ご覧になっている番組やお部屋の条件に最も適した映像を設定することができます。
各ソース（音源）ごとに別々に設定できます。

■ 設定したいソース（音源）のときに

1 リモコンの映像選択ボタンを押す

- ディスプレイに映像選択画面が表示されます。
- 画面は５秒間表示されます。

- 映像選択ボタンを押すごとに設定が切り換わります。お買い上げ時は「ダイナミック」になっています。

スタンダード
ふつうの部屋でテレビを見るときに最適です。
ダイナミック
明るい部屋で明暗のはっきりした映像を見るときに最適です。
シアター
照明を押さえた部屋で映画番組や映画ソフトを見るときに最適です
ゲーム
テレビゲームを楽しむときに最適です。

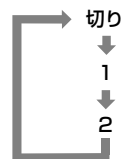
せりふを聞き取りやすくする [BBE*]

テレビや映画の音声再生時に効果的です。
音楽再生時は、クリアでリアルな音を再現します。
各ソース（音源）ごとに別々に設定できます。

■ 設定したいソース（音源）のときに

1 リモコンの BBE ボタンを押す

- ディスプレイに BBE 設定画面が表示されます。
- 画面は３秒間表示されます。

- BBEボタンを押すごとにBBEの設定が切り換わります。お買い上げ時は「1」になっています。

切り　：BBE 機能を使いません。
1、2 ：数字が大きくなるほど、BBE の効果が大きくなります。

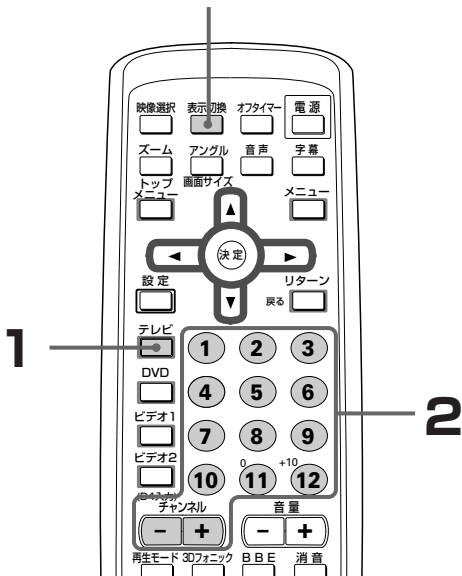
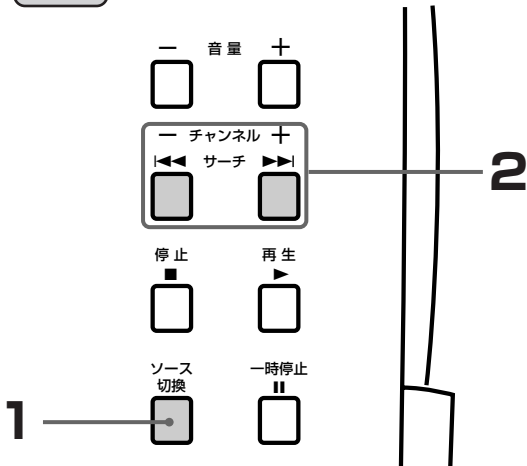
＊ BBEは音質補正機能です。原音に近い、自然で明瞭度の高い音質を実現します。

BBE は、BBE Sound 社の登録商標です。

テレビを見る

お知らせ

- お買い上げ時は、VHFの1～12チャンネルを見ることができます。
  UHF放送やCATV（ケーブルテレビ）など、これ以外のチャンネルを見たいときは、チャンネルの設定を変更してください。詳しくは「チャンネルを合わせる」をご覧ください ☞ 30 ページ。

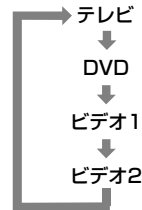
リモコン

本 体

■いつでも

1 ソース（音源）をテレビにする

リモコンから操作する

テレビボタンを押します。電源が入り、前回最後に見たチャンネルがテレビに表示されます。

本体から操作する

電源「入」の状態でソース切換ボタンを押します。押すごとにソース（音源）が切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ

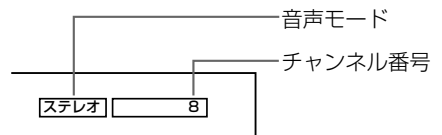
リモコンから操作する

- 数字ボタン（1～12）を押します。
- また、チャンネルボタンで選ぶこともできます。＋ボタンを押すとチャンネル番号が大きい方に順に切り換わり、－ボタンを押すとチャンネル番号が小さい方に順に切り換わります。
- 選んだチャンネル番号が3秒間表示されます。

本体から操作する

- チャンネルボタンを押します。＋ボタンを押すとチャンネル番号が大きい方に順に切り換わり、－ボタンを押すとチャンネル番号が小さい方に順に切り換わります。
- 選んだチャンネル番号が3秒間表示されます。

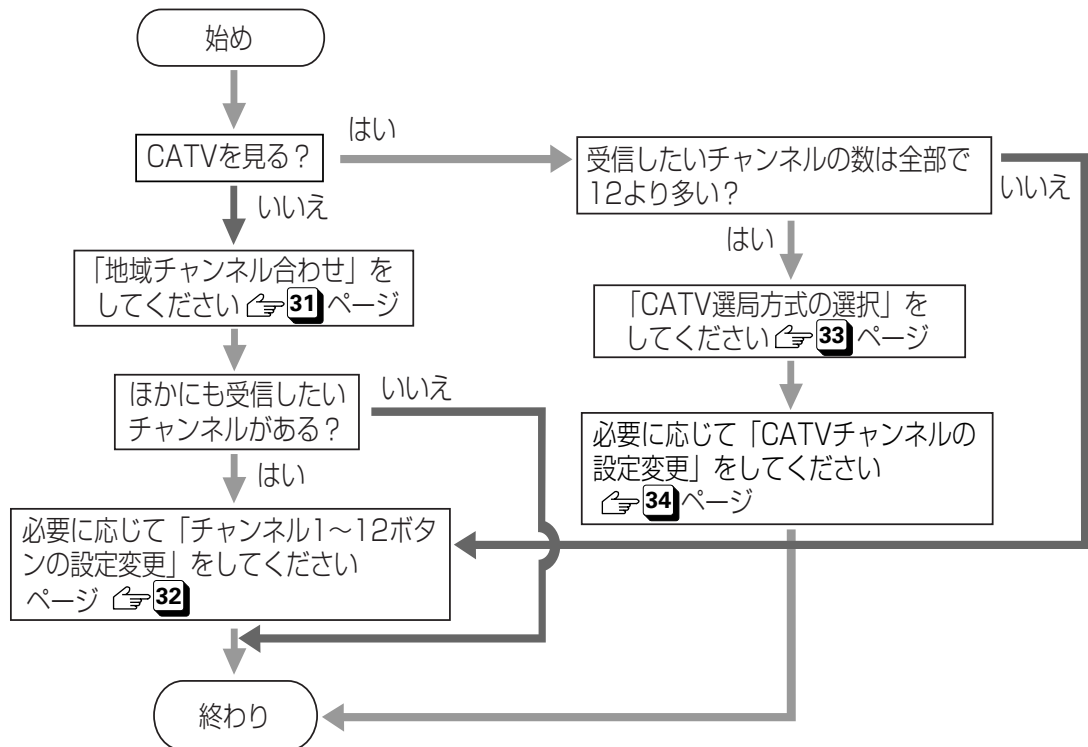
- ステレオ放送または音声多重放送の場合は、音声モードが同時に表示されます。

例:

- **チャンネル番号を表示したままにするには**
  リモコンの表示切換ボタンを押すと、チャンネル番号を表示したままにできます。ボタンを押すごとに表示／非表示で切り換わります。
- ソース（音源）がビデオ1またはビデオ2のとき、リモコンの数字（1～12）ボタンでソース（音源）をテレビにしてチャンネルを選べます。

チャンネルを合わせる

チャンネル設定の手順

お買い上げ時、リモコンの数字ボタン1～12には、それぞれVHFの1～12チャンネルが割り当てられています。したがって、お住まいの地域によっては、お買い上げ時の状態でそのまま使用することができます。その場合、チャンネルの設定は不要です。

UHF放送やCATVなど、このままでは受信できないチャンネルを見るには、次のチャートを参照のうえ、チャンネルを設定してください。

CATVをみるための準備

CATVはサービスの行われている地域だけで受信できる放送です。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

● **CATV会社と受信契約をする**

詳しくはCATV各社にお問い合わせください。

● **CATVケーブルを接続する**

詳しくはCATV各社にお問い合わせください。

● **必要に応じてCATVのチャンネルを設定する** 32、33 ページ

地域の放送局を一括して設定する[地域チャンネル合わせ]

お住まいの地域の放送局を一括して設定することができます。

■ 電源「入」の状態で

1 リモコンの設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
映像調節
音声調節
DVD設定
チャンネル設定
各種設定
△▽で選択 決定で決定 設定で終わる

今おこなった操作を取り消すには
リターン／戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2 カーソル（▲/▼）ボタンで ☞ を「チャンネル設定」に合わせ、決定ボタンを押す

設定メニュー
映像調節
音声調節
DVD設定
チャンネル設定
各種設定
△▽で選択 決定で決定 設定で終わる

3 カーソル（▲/▼）ボタンで ☞ を「地域チャンネル合わせ」に合わせ、決定ボタンを押す

チャンネル設定	
地域チャンネル合わせ	
チャンネル1～12ボタンの設定変更	
CATV選局方式の選択	◁12ボタン方式▷
CATVチャンネルの設定変更	
△▽で選択 決定で決定 戻るで前画面 設定で終わる	

4 カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンで ☞ をお住まいの地方に合わせ、決定ボタンを押す

地域チャンネル合わせ

北海道	東北	関東	甲信越	北陸	
東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄

始めにお住まいの地方を選んでください

◁▷で選択 決定で決定 戻るで前画面 設定で終わる

北海道を選んだ例

5 カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンで ☞ をお住まいの地域（または近辺の地域）に合わせ、決定ボタンを押す

地域チャンネル合わせ

北海道	東北	関東	甲信越	北陸	
東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄

お住まいの地域または近辺の地域を選んでください

さっぽろ	おたる	あさひかわ
なよろ	わっかない	むろらん
とまこまい	はこだて	おびひろ
くしろ	あばしり	きたみ

◁▷で選択 決定で決定 戻るで前画面 設定で終わる

札幌を選んだ例

地域チャンネル合わせが実行され、受信チャンネルの一覧表が表示されます。

札幌を選んだ例

八王子・横浜市にお住まいの方は

- 八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは、「23区」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

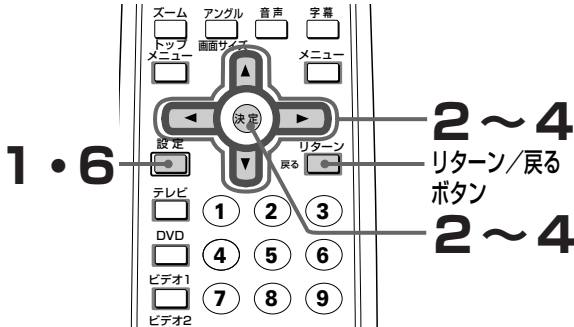
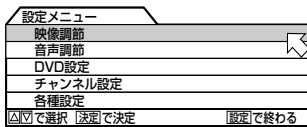
6 設定ボタンを押す

これで設定は終了しました。

チャンネルの設定を変更するには
☞ 32 ページ

チャンネルの設定を変更する[チャンネル1～12ボタンの設定変更]

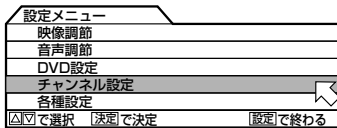
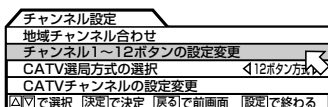
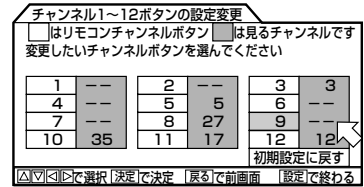
次のような場合は、以下の手順でチャンネルの設定を変更してください。

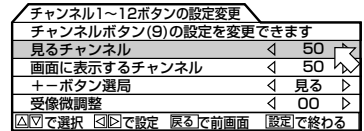
- 地域の放送局が「地域チャンネル合わせ」の受信チャンネルに当てはまらないとき
- 受信チャンネルの順番を変えたいとき
- CATV を見るとき
- ＋、－ボタン選局時に、見ないチャンネルを飛ばしたいとき
- 受像の微調整をしたいとき

■ 電源「入」の状態で

1 リモコンの設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

今おこなった操作を取り消すには

リターン／戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2 カーソル（▲／▼）ボタンで を「チャンネル設定」に合わせ、決定ボタンを押す

3 カーソル（▲/▼）ボタンで を「チャンネル 1 ～ 12 ボタンの設定変更」に合わせ、決定ボタンを押す

4 カーソル（◀/▶/▲/▼）ボタンで を変更したいリモコンチャンネルボタンに合わせて、決定ボタンを押す

- カーソル（▲/▼）ボタンで を変更したい項目に合わせます。
- カーソル（◀/▶）ボタンを押して設定を変えます。

チャンネル1～12ボタンの設定変更
チャンネルボタン(9)の設定を変更できます
見るチャンネル ◁ 50 ▷
画面に表示するチャンネル ◁ 50 ▷
＋－ボタン選局 ◁ 見る ▷
受像微調整 ◁ 00 ▷
△▽で選択 ◁▷で設定 戻るで前画面 設定で終わる

リモコンの ⑨ を押すと、UHF50 チャンネルを受信し、ディスプレイに 50 と表示するように変更した例

[設定項目]

見るチャンネル

リモコンのチャンネルボタンに割り当てるチャンネル番号を選びます。

1 ～ 12	：VHF 放送
13 ～ 62	：UHF 放送
C13 ～ C38	：CATV 放送

画面に表示するチャンネル

テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

その他の設定項目

＋－ボタン選局

チャンネル（＋、－）ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。「見ない」にすると、そのチャンネルは飛ばされます。

受像微調整

受信状態が悪いとき調整してください。この項目を選択すると、次の画面が表示されます。

カーソル（◄/►）ボタンで調整してください。

※ この画面は5秒間何も操作しないと消え、「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面が表示されます。

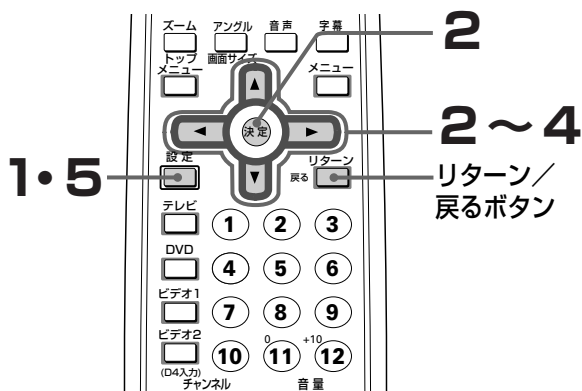
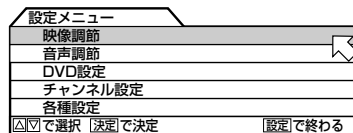
5 **必要に応じて、リターン／戻るボタンを押した後、手順3、4を繰り返して別のチャンネルボタンも設定する**

6 **設定ボタンを押す**

これでチャンネルの設定変更は終了しました。

チャンネルを数字で入力する [CATV選局方式の選択]

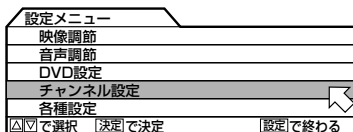
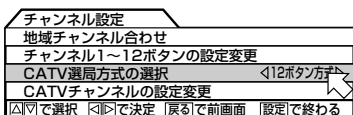
受信したいチャンネル数が全部で 12 より多い場合、以下の操作でチャンネルを2桁の数字で入力するように設定してください。

受信したいチャンネル数が 12以下なら、この操作は必要ありません。

■ 電源「入」の状態で

1 **リモコンの設定ボタンを押す**

設定メニュー画面が表示されます。

今おこなった操作を取り消すには

リターン／戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2 **カーソル（▲/▼）ボタンで を「チャンネル設定」に合わせ、決定ボタンを押す**

3 **カーソル（▲/▼）ボタンで を「CATV選局方式の選択」に合わせる**

4 **カーソル（◄/►）ボタンで「数字入力方式」を選択する**

5 **設定ボタンを押す**

これで設定は終了しました。

チャンネルの選びかた

例

1 チャンネルを選局するとき

⑪ ➡ ①

または①を押して 3 秒以上待つ

12 チャンネルを選局するとき

① ➡ ②

CATV のチャンネル 34 を選局するとき

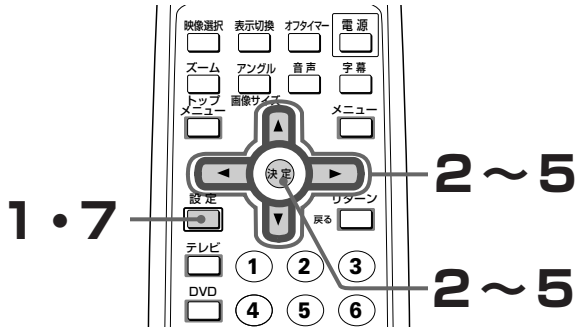
③ ➡ ④

- 1～12チャンネルには31、32ページで設定したチャンネルが選ばれます。UHF を選ぶにはあらかじめ1～12ボタンにチャンネルを設定してください。
- **お買い上げ時の設定にもどすには**

  リモコンの1～12ボタンで選局できるように戻すには、上の手順 **4** で「12ボタン方式」を選びます。

CATVチャンネルの設定を変更する[CATVチャンネルの設定変更]

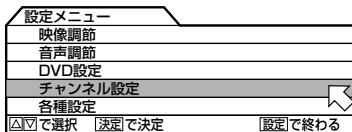
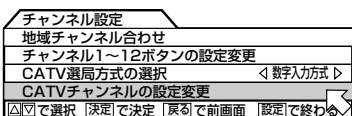
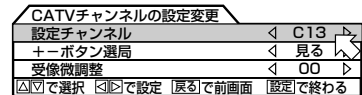
CATV選局方式を「数字入力方式」にしてお使いのとき（☞ 33ページ）、CATVチャンネルの設定を変更する操作です。変更できる設定は「＋－ボタン選局」「受像微調整」です。（「12ボタン方式」でお使いのとき☞ 32ページ「チャンネル1～12ボタンの設定変更」）

「＋－ボタン選局」「受像微調整」の設定を変更しないとき、この操作は必要ありません。

■ 電源「入」
CATV選局方式：数字入力方式のときに

1 リモコンの設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

今おこなった操作を取り消すには
リターン／戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2 カーソル（▲/▼）ボタンで ⇖ を「チャンネル設定」に合わせ、決定ボタンを押す

3 カーソル（▲/▼）ボタンで ⇖ を「CATVチャンネルの設定変更」に合わせ、決定ボタンを押す

4 変更したいチャンネルを選ぶ

- カーソル（▲/▼）ボタンで ⇖ を「設定チャンネル」に合わせます。
- 項目上でカーソル（◀/▶）ボタンを押すごとにチャンネルが変わります。

5 必要な項目を設定する

- カーソル（▲/▼）ボタンで ⇖ を設定したい項目に合わせます。
- 項目上でカーソル（◀/▶）ボタンを押すごとに設定が変わります。

[設定項目]

＋－ボタン選局
チャンネル（＋、－）ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。「見ない」にすると、そのチャンネルは飛ばされます。

受像微調整
受信状態が悪いとき調整してください。この項目を選択すると、次の画面が表示されます。

カーソル（◀/▶）ボタンでもっとも受信状態がよいところに調整してください。
※ その後、決定ボタンを押すか5秒間なにも操作しないと、調整値が記憶され「CATVチャンネルの設定変更」画面に戻ります。

6 別のCATVチャンネルも変更したいときは、手順4、5を繰り返す

7 設定ボタンを押す

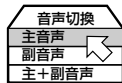
これで設定は終了しました。

音声を切り換える

テレビ番組が音声多重（二重音声）放送やステレオ放送のとき、聞きたい音声を選ぶことができます。

■ テレビを見ているときに

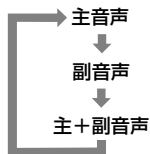
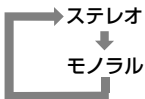
1　リモコンの音声ボタンを押す

- ディスプレイに音声切換画面が表示されます。
- 画面は３秒間表示されます。

- 音声ボタンを押すごとに音声が切り換わります。

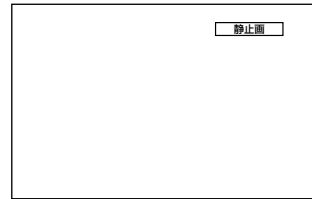
音声多重放送受信中の場合

ステレオ放送受信中の場合

画像を静止画にする

ソース（音源）がテレビ、ビデオ１、またはビデオ２のとき、画像を静止画にすることができます。
テレビに表示されている情報（応募先の住所など）をメモするときに便利な機能です。

■ ソース（音源）がテレビ、ビデオ１またはビデオ２のとき

1　リモコンのダイジェスト／静止画ボタンを押す

- 画面が静止し、ディスプレイに「静止画」と３秒間表示されます。

- 音声はそのまま流れます。

静止画を解除するには

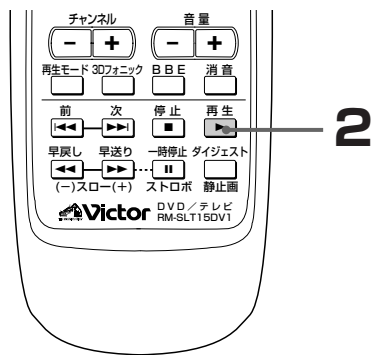
もう一度ダイジェスト／静止画ボタンを押すと通常に戻ります。

お知らせ

- 無信号に変わったとき（テレビ、ビデオ１、ビデオ２）や、Ｓビデオコードを抜き差ししたとき（ビデオ１）、走査線数が変わったとき（ビデオ２）は、自動的に静止画が解除されます。

DVD/ビデオCD/オーディオCDの基本操作

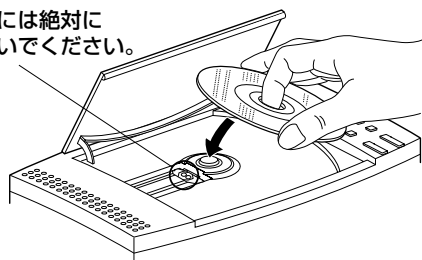
DVD オーディオCD ビデオCD マークは、その機能を使えるディスクのタイプを示しています。

再生する

リモコン

本体

■ いつでも

1 本体の開／閉ボタンを押してディスクカバーを開け、ディスクを入れる

- ディスクは文字のある面を上にして、中央の突起部に「カチッ」と音がするまで軽く押してはめ込みます。

2 リモコンまたは本体の再生 ► ボタンを押す

- はじめから再生されます。
- DVD ソフトの中にはディスクを入れ、ディスクカバーを閉じれば自動的に再生が始まるものがあります。

再生中に表示されるマークについて
DVD を再生していると、下のようなマークが表示されることがあります。それぞれ次のような意味があります。

［アングル］を切り換えることができます。☞ 46 ページ

［字幕言語］を切り換えることができます。☞ 49 ページ

［音声言語］を切り換えることができます。☞ 50 ページ

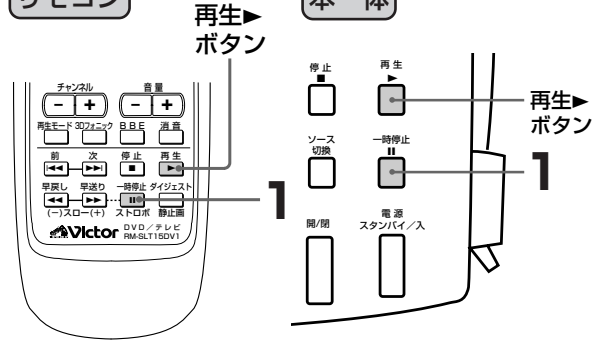
マークを表示しないようにするには
☞ 71 ページ「オンスクリーンガイド」

お知らせ

- DVD や PBC（プレイバックコントロール）で収録されたビデオ CD では、再生 ► ボタンを押すとメニューが表示されることがあります。このメニューを使って、見たいところを呼び出すことができます。
☞ 41 ページ

停止する

DVD　オーディオCD　ビデオCD

リモコン　本 体

■ 再生中に

1　リモコンまたは本体の停止 ■ ボタンを押す

再生を停止します。

ディスクの取り出しかた

本体の開/閉ボタンを押してディスクカバーを開け、中央の突起部を押さえながらディスクの両端をもって取り出します。

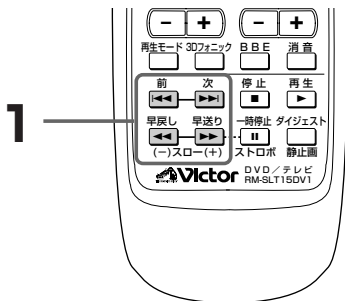
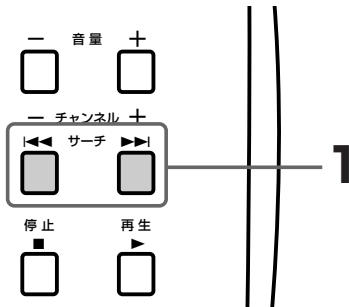
一時停止する

■ 再生中に

1　リモコンの一時停止／ストロボ ॥ ボタンまたは本体の一時停止 ॥ ボタンを押す

再生を一時停止します。再生►ボタン押すと再生を再開します。

早送り／早戻しをする

DVD オーディオCD ビデオCD

本　体

■ 再生中に

1
【早送り / 早戻し 1】（リモコンのみ）

◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

- ボタンを押すごとに早送り／早戻しのスピードが速くなります（2倍速～60倍速）。
- 通常の再生に戻すときは、再生► ボタンを押します。
- 早送り／早戻し中は音声が出ません。

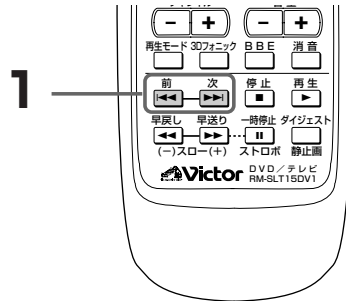
1
【早送り / 早戻し 2】

リモコンまたは本体の ▶▶| または |◀◀ ボタンを押したままにする

- ▶▶| ボタンを押したままにすると早送り、|◀◀ ボタンを押したままにすると早戻しができます。
- ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。
- 早送り／早戻し中は音声が出ません。

頭出しをする

リモコン

本　体

■ 再生中に

1

リモコンまたは本体の ▶▶| または |◀◀ ボタンを押す

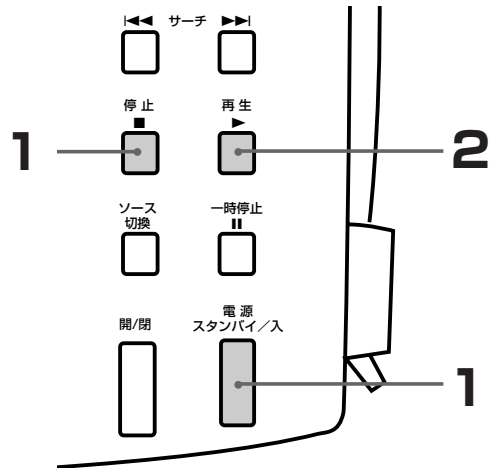
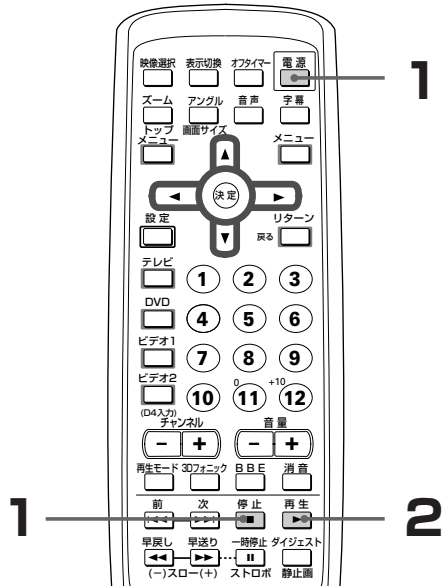
送る方向に頭出しをするには ▶▶| ボタンを押し、戻す方向に頭出しをするには|◀◀ボタンを押します。
オーディオCDやPBCオフで再生しているビデオCDでは、曲の頭などのトラック番号の区切りに移ります。DVDやPBCオンで再生しているビデオCDでは、収録内容によって異なりますが、多くのディスクではタイトルやチャプターの区切りに移ります。

PBCをオン／オフするには
☞ 41 ページ

お知らせ

- DVDによっては、この機能を受け付けないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときディスクによっては、この機能を受け付けません。

あとで続きを再生する[リジューム]

映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。
お買い上げ時はリジュームがオン（リジュームする）に設定されていますが、オフ（リジュームしない）にすることもできます。☞ 71 ページ

■ リジューム「オン」で再生中に

1 中断したいところで、停止■ボタンを押すか、または電源ボタンを押す

- 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されます。
- ディスプレイに「リジューム設定をおこないました。►キーを押すと続きから見ることができます。」とメッセージが表示されます。
- 前回操作したときの記憶が残っていたときは、前回の記憶は消え、今回の位置が新しく記憶されます。

ちょっとひと言

- 停止■ボタンを押して再生を中断した場合、そのあとで電源を切っても位置の記憶は消えません。
- ディスクカバーを開けると位置の記憶は消えてしまいます。

続きを再生するまで、本機をそのままの状態にしておく

2 リモコンまたは本体の再生 ► ボタンを押す

中断した位置から再生が始まります。

・位置の記憶を取り消すには

- ・ディスクカバーを開ける
- ・（電源「入」の状態で）停止中に停止■ボタンを押す
  ディスプレイに「リジューム設定を解除しました。」と表示されます。
- ・（電源「切（スタンバイ）」の状態で）電源ボタンを押して電源を入れる

お知らせ

- オーディオ CD に対してはリジュームは働きません。
- PBC 対応のビデオ CD では、記憶されている位置よりも手前または後から再生されることがあります。
- プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジュームは働きません。

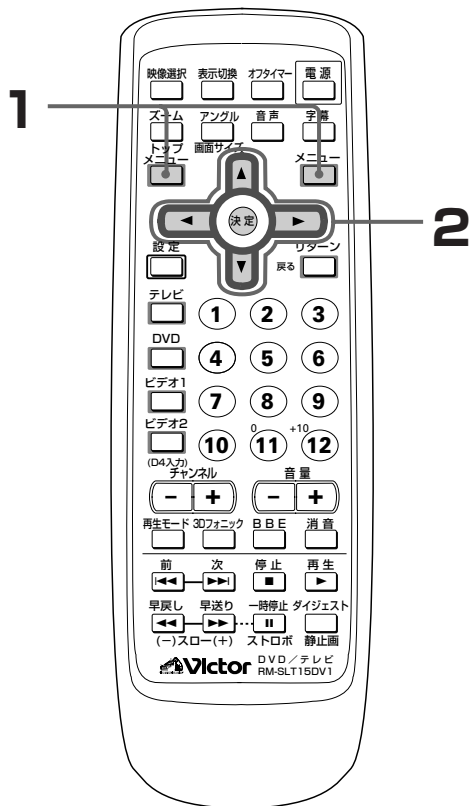
再生するところを選ぶ

タイトル、チャプター、トラックなどを選んだり、再生位置の時間を指定して、そこから再生することができます。

ソース(音源)が「DVD」以外になっているときは、リモコンのDVDボタンを押してから操作してください。

DVDのメニューから選ぶ

DVD

DVD には、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

■ メニューボタンを使うとき：
DVD 再生中に
トップメニューボタンを使うとき：
DVD 再生中または停止中に

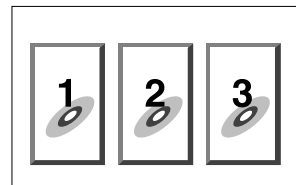
1 メニューボタンまたはトップメニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンを使って見たいものを選び、決定ボタンを押す

選択したところから再生されます。

例

ちょっとひと言

メニューボタンとトップメニューボタンの使い分け

- 複数のタイトルが収録されているディスクは、タイトル名のリストが表示されるなど目次のような役割を持ったメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合には、トップメニューボタンを押します。また、複数のタイトルが収録されていないディスクでも何らかのメニュー画面が収録されていることがあります。このようなときには、メニューボタンを押します。収録されているメニュー画面が表示されます。
各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をごらんください。
- 停止中は、メニューボタンは働きません。
- メニュー画面によってはカーソル（◄/►/▲/▼）ボタンによる操作だけではなく、数字ボタンを押すだけで見たい画面を選ぶことができます。

お知らせ

- **トップメニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
そのディスクにタイトル一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されていません。
- **メニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
メニュー画面自体が収録されていません。

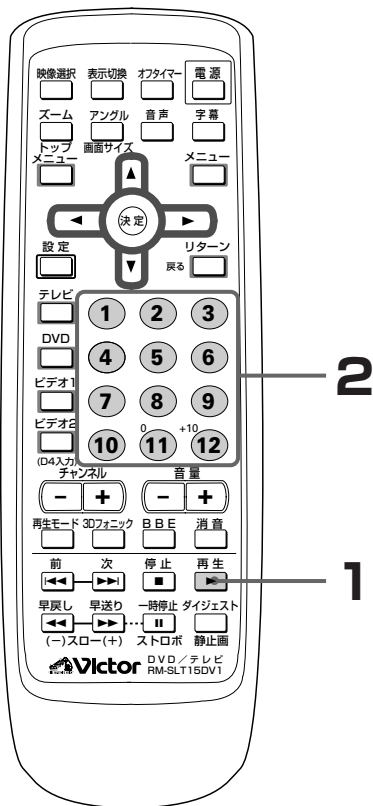
ビデオCDのメニューから選ぶ

ビデオCD

PBCで 収録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてディスプレイに表示されます。 このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

■ PBC 対応ビデオ CD が停止中に

1 再生 ► ボタンを押す

PBC のメニュー画面が表示されます。

2 数字ボタン（1～10、11[0]、12[+10]）を使って見たいところの番号を選ぶ

メニューの 3 番を見たいとき：③ を押す

メニューの 11 番を見たいとき：

⑫ ➡ ①と押す

メニューの 30 番を見たいとき：

⑫ ➡ ⑫ ➡ ⑩と押す。または

⑫ ➡ ⑫ ➡ ⑫ ➡ ⑪と押す。

選んだ番号のところが再生されます。

メニュー画面に戻したいときには、リターン／戻るボタンを押します。

ディスプレイに［次］または［前］が表示された場合、

- ►►I ボタンを押すことによって、メニューの次のページへ進みます。
- I◄◄ ボタンを押すことによって、メニューの前のページへ戻ります。

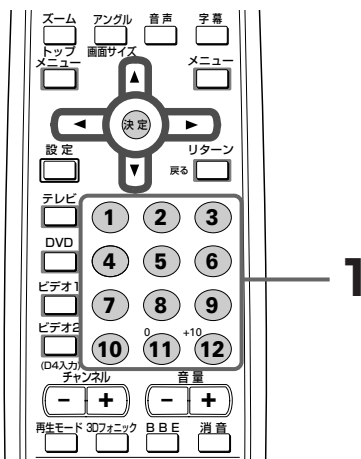
※ 操作方法はディスクにより異なります。

PBC をオン／オフするには

- PBCオフで再生をしている場合は、停止■ボタンを押して再生を停止した後にもう一度停止ボタンを押してリジュームを解除し、再生►ボタンを押すとPBC機能が働くようになります。（リジューム☞ 39 ページ）この操作は、次のように再生モード画面でも行なうことができます。
  1 再生モードボタンを押します。
  2 カーソル（◄/►）ボタンを使って画面上の［PBC再生］に を合わせ、決定ボタンを押します。
- PBC オフで再生するには 、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。☞ 42 ページ

いろいろな再生のしかた

再生するところを番号で指定する

数字ボタンを使ってDVDのタイトル、オーディオCDやビデオCDのトラックを指定し、そこから再生をはじめることができます。

■DVD　　　　　：停止中に（タイトル）、再生中に（チャプター）
オーディオCD：停止中または再生中に
ビデオCD　　　：停止中またはPBCオフで再生中に

1　数字ボタン（1～10、11[0]、12[+10]）を使って番号を指定する

- DVD停止中はタイトル、DVD再生中はチャプター、オーディオCD／ビデオCDではトラックの番号を指定できます。

例：　3番を選ぶには
③ を押す

11番を選ぶには
⑫(+10) ➡ ① の順に押す

30番を選ぶには
⑫(+10) ➡ ⑫(+10) ➡ ⑩

または
⑫(+10) ➡ ⑫(+10) ➡ ⑫(+10) ➡ ⑪(0) の順に押す

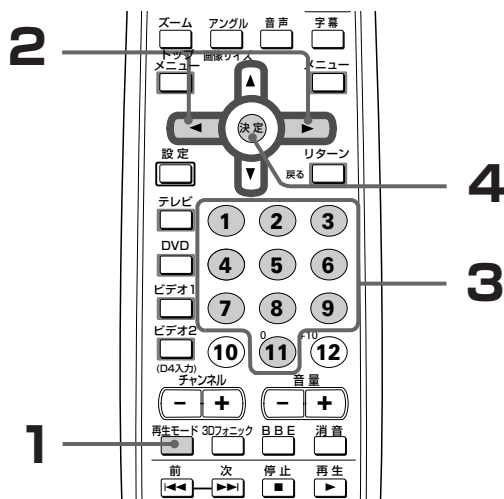
指定した番号から再生が始まります。

お知らせ

- **手順1で ⃠ が表示されたときは**
  指定した番号のタイトル、またはトラックが収録されていません。
- ビデオCDをPBC再生しているときはこの機能を使えません。

チャプター番号を指定する [チャプターサーチ]

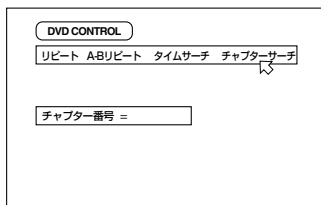
DVD

映画が収録されたDVDでは、多くの場合タイトル中の場面をチャプターに分割しています。このチャプター番号を指定することによって、その場面から再生を始めることができます。

■ DVD 再生中に

1 再生モードボタンを押す

DVD CONTROL（コントロール）画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って[チャプターサーチ] に を合わせ、決定ボタンを押す

メニューの下に「チャプター番号」が表示されます。

3 数字ボタン(1～9、11[0])を使って、見たいチャプター番号を入力する

例： 8番のチャプターから再生したいとき
⑧ を押す
30番のチャプターから再生したいとき
③ ➡ ⑪(0)の順に押す

- チャプター番号を間違えたときは、正しい番号を入力し直してください。
- ⑩と⑫(+10) ボタンは使いません。

お知らせ

- ⃠が表示されたときは
  入力した番号のチャプターは収録されていません。またはDVDがチャプターサーチを受け付けない収録になっています。

4 決定ボタンを押す

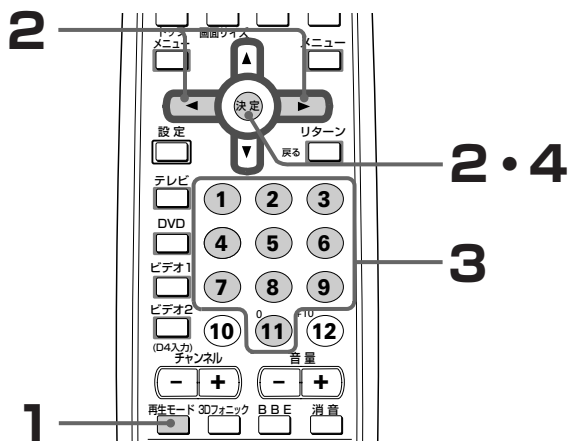
選んだ番号のチャプターから再生が始まります。

再生モード画面を消すには

再生モードボタンを押します。

指定した時間から再生する[タイムサーチ]

DVD

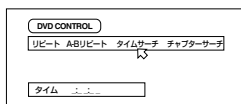
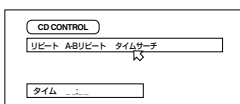
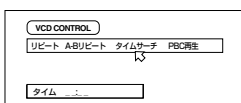
現在のタイトルやトラックの頭からの経過時間を指定することによって希望の位置から再生を始めることができます。

■ 再生中に

1 再生モードボタンを押す

DVD /CD /VCD CONTROL画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って[タイムサーチ]に ☇ を合わせ、決定ボタンを押す

メニューの下に「タイム」が表示されます。

（DVDの場合）

（オーディオCDの場合）

（ビデオCDの場合）

3 数字ボタン(1～9、11[0])を使って時間を入力する

タイトルやトラックの頭からの経過時間を指定します。

- ⑩と⑫(+10)ボタンは使いません。
- DVDでは「時間・分・秒」、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」で指定します。

3 例：現在再生しているDVDのタイトルの頭から2時間34分の位置に飛びたいとき

↓

決定ボタンを押す

時間を間違えた場合

間違えた場所にカーソルを移動して、正しい数字ボタンを押し直してください。

例：2時間34分を間違えて2時間35分と入力してしまったときは

タイム 2 : 35 : _ _

↓ カーソル(◄)ボタンを押す

タイム 2 : 3_ : _ _

↓ ④ を押す

タイム 2 : 34 : _ _

4 決定ボタンを押す

指定した時間から再生が始まります。

DVD CONTROL/CD CONTROL/VCD CONTROL画面を消すには

再生モードボタンを押します。

お知らせ

- **操作中に⊘が表示されたときは**
  入力した時間が再生中のタイトル／トラックの時間を超えているので、タイムサーチは機能しません。またはDVDによってはタイムサーチを受け付けない場合があります。
- PBC再生中のビデオCDではタイムサーチ機能が働きません。
- プログラム再生中、またはランダム再生中はタイムサーチ機能は働きません。
- DVDの中には時間情報が記録されていないものもあります。そのようなディスクに対してはタイムサーチ機能を使えません。

場面の一覧から選ぶ[ダイジェスト]

DVD　ビデオCD

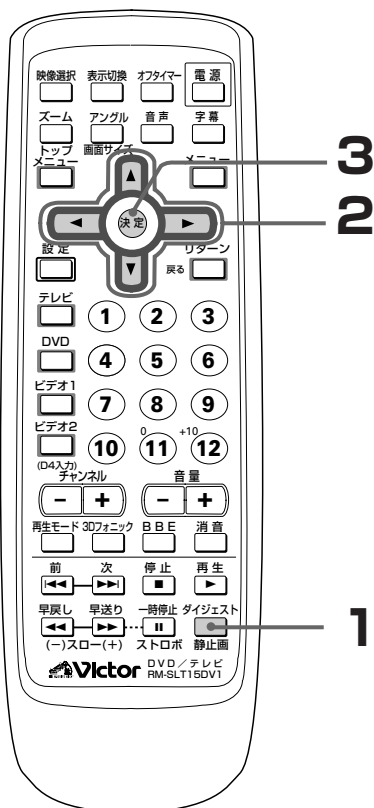
DVDの各タイトル／チャプター、あるいはビデオCDの各トラックの最初の場面を一覧表示させることができます。これを「ダイジェスト画面」といいます。また、ダイジェスト画面から、見たいところを選ぶことができます。

■ DVD　　　：停止中または再生中に
ビデオCD　：停止中またはPBCオフで再生中に

1　ダイジェスト／静止画ボタンを押す

DVD停止中　：各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

DVD再生中　：いま再生中のタイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

ビデオCD　：各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

ダイジェスト画面の例

2　カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンを使って、見たい場面を選ぶ

見たい場面に↖を移動させます。

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが9つより多い場合はダイジェスト画面が2ページ以上になります。この場合、右下に表示された場面を選んでいるときにカーソル（►）ボタンを押すと次のページが表示されます。

また左上に表示された場面を選んでいるときにカーソル（◄）ボタンを押すと前のページが表示されます。

↖の位置に関係なく►►|または|◄◄ボタンを押しても、前後のページが表示されます。

選択した場面

3　決定ボタンを押す

選んだ場面から再生が始まります。

ちょっとひと言

- ダイジェスト画面が2ページ以上ある場合、手順1の操作のあと1ページ目の9つの場面全部がディスプレイに表示される前に►►|ボタンを押すと、次のページが表示されます。同様に2ページ目以降のシーンが全部表示される前に|◄◄ボタンを押すと、前のページに戻ります。

お知らせ

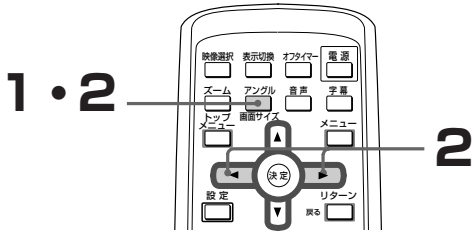
- ディスクによっては、すべての画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

映像のアングル（角度）を変える

DVDの音楽ライブソフトなどには、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像（マルチアングル）が複数収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには、どの角度からの映像を見るか選択することができます。

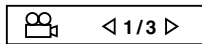
- マルチアングル収録された個所の冒頭でディスプレイに が表示されます。
  （オンスクリーンガイドがオンのとき71 ページ）

アングルを切り換える

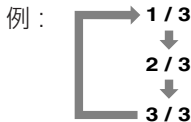
DVD

■ DVD再生中に

1 アングル／画面サイズボタンを押す

ディスプレイにアングル選択表示が現われます。

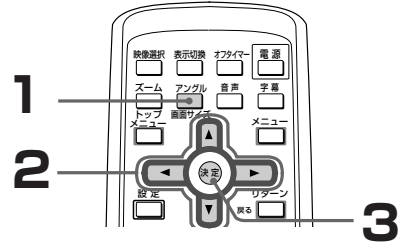
◁ 1/3 ▷

2 アングル／画面サイズボタン、またはカーソル（◄/►）ボタンを使って見たいアングル番号を選ぶ

アングル／画面サイズボタンまたはカーソル（◄/►）ボタンを押すごとにアングルが変わります。

例：

お知らせ

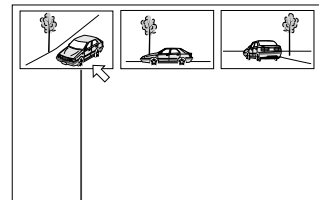
- 10秒間何も操作しないとアングル選択表示は自動的に消えます。
- アングル選択表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- ⃠ が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。

アングル一覧から選ぶ

DVD

■ DVD再生中に

1 アングル／画面サイズボタンを1秒以上押す

ディスプレイに、アングル一覧（最大9アングル）が表示されます。

2 カーソル（▲/▼/◄/►）ボタンを使って、見たいアングルを選ぶ

選んでいるアングル

3 決定ボタンを押す

選んだアングルで再生されます。

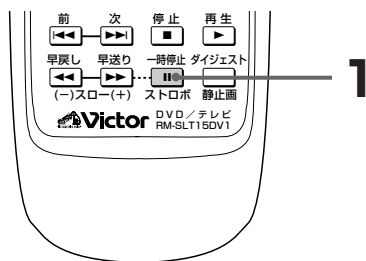
お知らせ

- ⃠ が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またはディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。
- 上記の操作中は、音声が消えますが、再生は続いています。

特殊な画像再生

画像を1コマずつ送ったり、連続写真のように表示したり、スローモーション再生したり、あるいはズームアップすることができます。

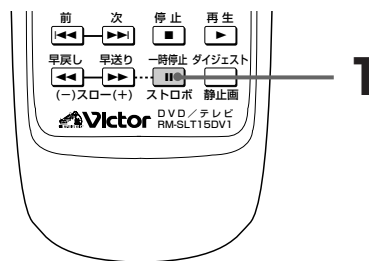
画像を1コマずつ送る

DVD ビデオCD

■一時停止中に

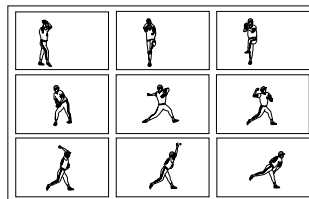
1　一時停止II／ストロボボタンを押す

押すごとに静止画像が1コマずつ進みます。
再生►ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVD ビデオCD

■ 一時停止中に

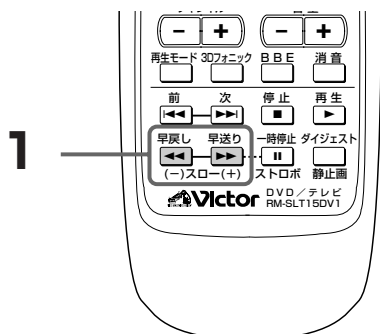
1　一時停止II／ストロボボタンを1秒以上押しつづける

連続した9つの静止画像（ストロボ画面）が表示されます。

ストロボ機能を解除するには

一時停止II／ストロボボタンを1秒以上押し続けます。一時停止画面に戻ります。

- ストロボ画面を表示中に一時停止II／ストロボボタンを押すと、次のストロボ画面が表示されます。押すごとに次が表示されます。
- ストロボ画面を表示中に再生►ボタンを押すと、連続してストロボ画面を送ります。

スローモーションで再生する[スロー]

DVD ビデオCD

■ 一時停止中に

1 **早送り ►► ／（＋）スローボタンまたは早戻し ◄◄ ／（−）スローボタンを押す**

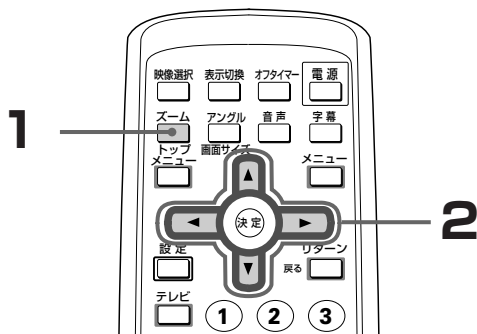
進む方向にスロー再生たいときは早送り►►／（＋）スローボタンを押します。
押すごとに、1/32➡1/16➡1/8➡1/4➡1/3➡1/2 の順序で速度が変わります。

戻す方向にスロー再生したいときは早戻し◄◄／（−）スローボタンを押します（DVDのみ）。
押すごとに、1/16➡1/12➡1/8➡1/4➡1/3の順序で速度が変わります。

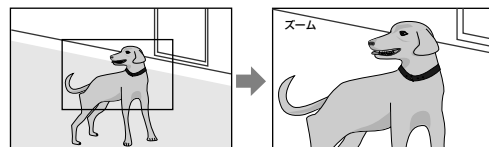
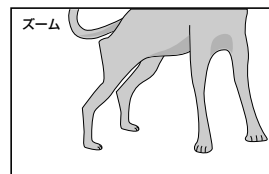
スロー再生を解除するには
一時停止Ⅱ／ストロボボタンを押します。一時停止状態に戻ります。

お知らせ
- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。

画面の一部を拡大する[ズーム]

DVD ビデオCD

■ 再生中または一時停止中に

1 **ズームボタンを押す**

[ズーム]がテレビ画面上に表示され、中央部が2 倍に拡大されます。

2 **カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンを使って、見たい部分を選ぶ**

ズームを解除するには
ズームボタンを押します。

お知らせ
- 拡大すると、画質が悪化したり、シーンによってはブレることがあります。

字幕や音声を切り換える

DVDには外国映画など、字幕が表示されるものや複数の音声が収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには字幕の種類（または字幕なし）や、音声を選択することができます。
またビデオ CD ではオーディオ再生チャンネルを切り換えることによって、カラオケの歌あり／なしを選択できます。

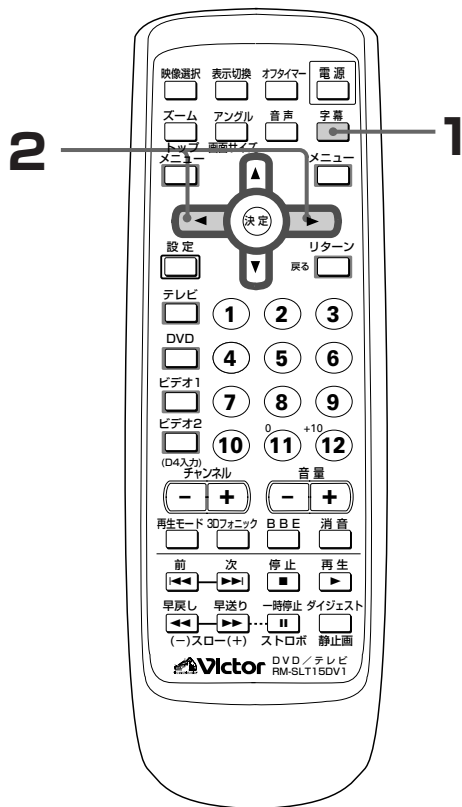
字幕を切り換える[字幕]

DVD

● 複数の字幕が収録されている箇所の冒頭でディスプレイに [....] が表示されます。
（オンスクリーンガイドがオンのとき☞ 71 ページ）

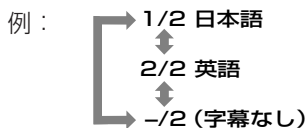
■ DVD 再生中に

1 字幕ボタンを押す

ディスプレイに字幕選択画面が表示されます。

字幕選択画面

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って見たい言語を選ぶ

押すごとに字幕の言語が切り換わります。

例：
1/2 日本語
⇕
2/2 英語
⇕
–/2（字幕なし）

● 日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語以外は言語コードが表示されます。☞ 81 ページ

お知らせ

● 字幕ボタンを押して 10 秒間何も操作をしないと、字幕選択画面が消えます。この表示がある間に字幕を選んでください。
● 字幕選択画面をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
● **字幕ボタンを押して⃠が表示されたときは**
ディスクに字幕が収録されていないか、この操作が禁止されています。
● **字幕の切り換えは、その言語の字幕がDVDに記録されていなければ、ご使用になれません。**
● 字幕のオン／オフを切り換えるには字幕ボタンを押します。

字幕や音声を切り換える（つづき）

音声を選ぶ[音声]

- 複数の音声が収録されている箇所の冒頭でディスプレイに ◯)) 表示されます。
（オンスクリーンガイドがオンのとき☞ 71 ページ）

■ 再生中に

1　音声ボタンを押す

ディスプレイに音声選択画面が表示されます。

※ この段階では、まだ音声は切り換わっていません。

2　カーソル（◀/▶）ボタンまたは音声ボタンを使って、音声の言語やチャンネルを選ぶ

[DVD の場合]

カーソル(◀/▶)ボタンまたは音声ボタンを押すごとに、言語が切り換わります。

例：1/2 英語 ⇕ 2/2 日本語

[ビデオ CD の場合]

カーソル（◀/▶）ボタンまたは音声ボタンを押すごとに、チャンネルが切り換わります。

ステレオ　（通常の再生）
⇕
L　（左チャンネルの音を左右から再生）
⇕
R　（右チャンネルの音を左右から再生）

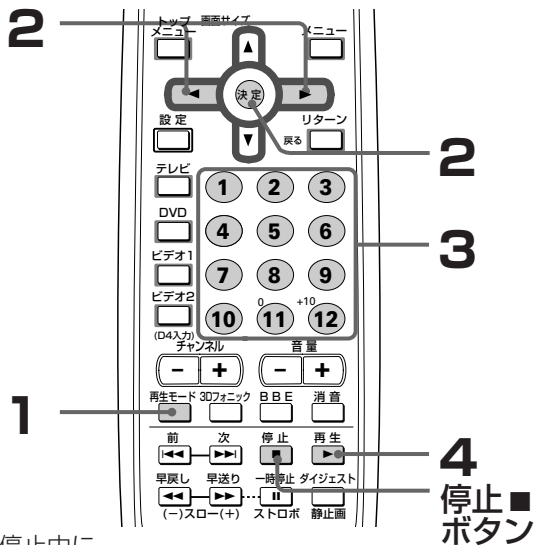
- 日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語以外は言語コードが表示されます。☞ 81 ページ

お知らせ

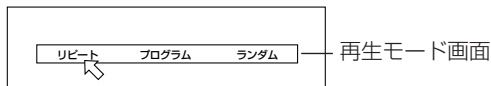
- 10秒間何も操作しないと音声選択画面は自動的に消えます。
- 音声選択画面をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- **DVD 再生中に音声ボタンを押して⊘が表示されたときは**
  ディスクに複数の言語が収録されていないか、この操作が禁止されています。

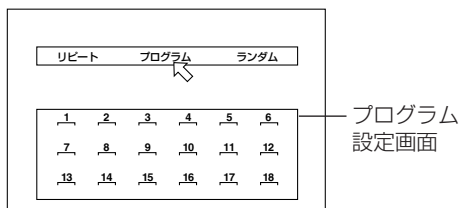
順番を変えて再生する

好きな順番で再生する[プログラム再生]

タイトルやトラックを好きな順番で再生することができます。

■ 停止中に

1 再生モードボタンを押す

再生モード画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って[プログラム]にを合わせ、決定ボタンを押す

プログラム設定画面が表示されます。

3 数字ボタン(1～10、11[0])を使ってタイトルまたはトラックを選ぶ

例：　3番を選ぶには
(3) を押す
11番を選ぶには
(12) ➡ (1) の順に押す
30番を選ぶには
(12) ➡ (12) ➡ (10)
または
(12) ➡ (12) ➡ (12) ➡ (11) の順に押す

この操作を繰り返して、最大18タイトル／トラックまで選ぶことができます。また、同じタイトル／トラックを何度も選ぶこともできます。

選んだタイトル／トラック番号が各プログラム番号の下に表示されます。

プログラムの内容をすべて取り消すには

- プログラム設定画面表示中に停止■ボタンを押す

以下の操作をした場合もプログラムの内容はすべて取り消されます。

- 本体の開／閉ボタンを押してディスクカバーを開ける
- 電源を切る
- ソース（音源）を切り換える

4 再生 ► ボタンを押す

プログラム再生が始まります。最後まで再生すると停止します。このときプログラム内容は残っていますので、もう一度再生►ボタンを押すと同じプログラム内容で再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

- 停止中に再生モードボタンを押して、プログラム設定画面の［プログラム］にを合わせ、決定ボタンを押す

以下の操作をした場合もプログラム再生モードは解除されます。

- 本体の開／閉ボタンを押してディスクカバーを開ける
- 電源を切る
- ソース（音源）を切り換える

お知らせ

- ディスクによってプログラム再生できないものがあります（DVDのみ）。
- プログラム再生中に►►ıボタンを押すと、次にプログラムされているタイトルやトラックに移ります。
また、ı◄◄ボタンを押すと再生中のタイトルやトラックの頭に戻りますが、手前のタイトルやトラックに戻すことはできません。）
- プログラム再生中に再生モードボタンを押してプログラム設定画面を表示させると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。

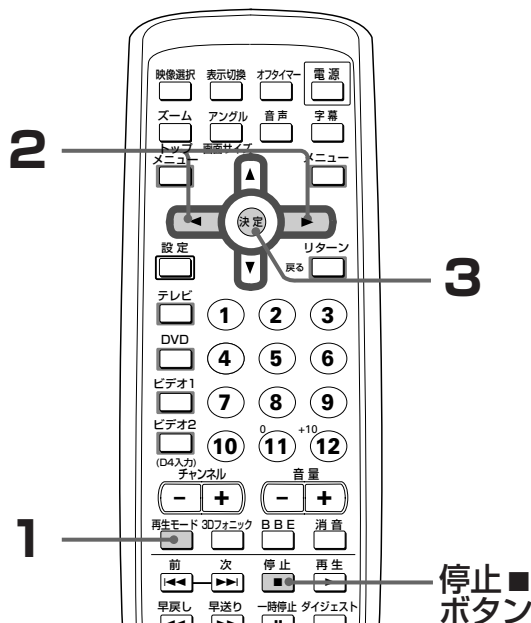
ランダム(無作為)な順番で再生する[ランダム再生]

タイトルやトラックをランダム（無作為）な順番で再生します。

■ 停止中に

1 再生モードボタンを押す

再生モード画面が表示されます。

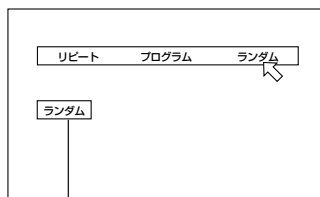
2 カーソル（◄/►）ボタンを使って［ランダム］に を合わせる

3 決定ボタンを押す

ランダム再生が始まります。すべてのタイトルを１回ずつ再生すると、自動的に停止します。

ちょっと ひと言

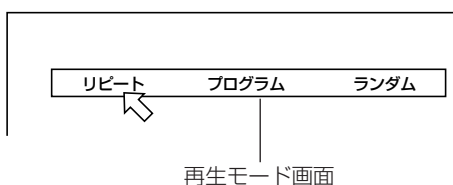
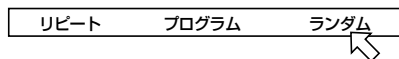
- ランダム再生中に停止■ボタンを押すと、ランダム再生が停止します。
- この状態ではランダム再生モードのままですので、再生►ボタンを押すと再びランダム再生を始めます。

ランダム再生を解除するには

停止中に再生モードボタンを押して、再生モード画面を表示させます。カーソル（◄/►）ボタンを使って［ランダム］に を合わせ、決定ボタンを押します。

ここの「ランダム」表示が消えます。

再生モード画面を消すには、再生モードボタンを押します。

ちょっと ひと言

- １回のランダム再生で同じタイトル／トラックが２回以上再生されることはありません。
- 次の操作をしてもランダム再生が解除されます。
  - ・本体の開／閉ボタンを押してディスクカバーを開ける
  - ・電源を切る
  - ・ソース（音源）を切り換える

くり返し再生する

タイトル／チャプター／トラック、あるいはディスク全体をくり返す[リピート]

■ 再生中に

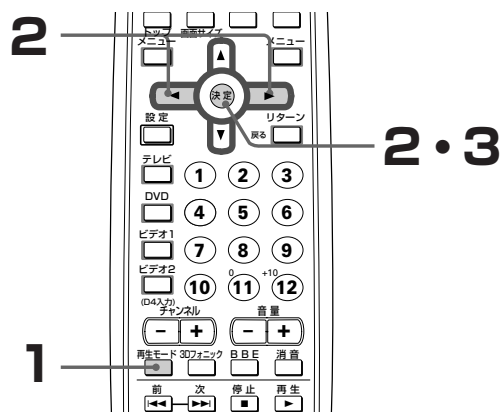
1 再生モードボタンを押す

DVD/CD/VCD* CONTROL画面が表示されます。
*VCDはVideo CDの略です。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って[リピート]に ⇖ を合わせ、決定ボタンを押す

リピートモード画面が表示されます。
（DVD）

リピートモード画面
（オーディオCD）

リピートモード画面
（ビデオCD）

リピートモード画面

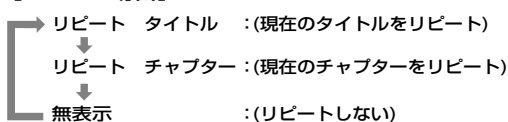
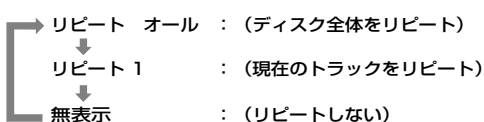
3 決定ボタンを押してリピートモードを選ぶ

押すごとにリピートモードは以下のように切り換わります。

[DVDの場合]

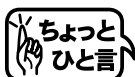
リピート　タイトル　：(現在のタイトルをリピート)
↓
リピート　チャプター：(現在のチャプターをリピート)
↓
無表示　：(リピートしない)

[オーディオCD／ビデオCDの場合]

リピート　オール　：（ディスク全体をリピート）
↓
リピート 1　：（現在のトラックをリピート）
↓
無表示　：（リピートしない）

オーディオCDとビデオCDの場合、停止中でもリピートの設定をすることができます。このとき、画面表示が再生中での操作と少し異なりますが、操作手順は同じです。

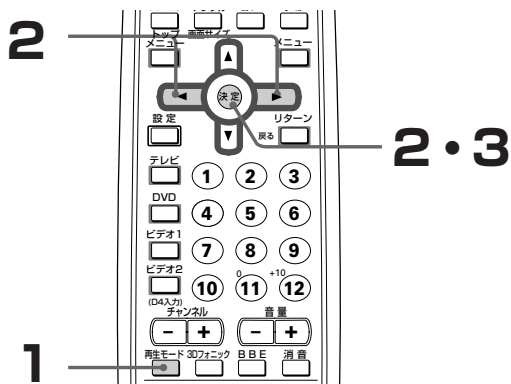
リピートを解除するには
手順**3**で「無表示」を選んでください。

DVD/CD/VCD CONTROL画面を消すには
再生モードボタンを押します。画面は消えますが、リピート設定は残っています。

ちょっとひと言

- （オーディオCD/ビデオCD）再生時に停止■ボタンを押すと、再生が停止しますがリピート設定は残っています。
- （DVD）リピート再生時に停止■ボタンを押すと、再生が停止してリピート設定が解除されます。

お知らせ

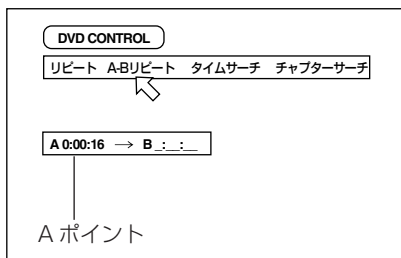
- DVDの中には、リピート再生の途中で自動的に停止するものがあります。
- ビデオCDのPBC再生中は、リピート再生ができません。
- **⃠が表示されたら**
  ディスクの構成上、リピート再生はできません。

指定した範囲をくり返し再生する [A-Bリピート]

■ 再生中に

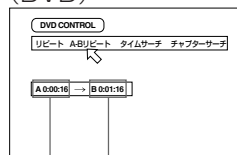
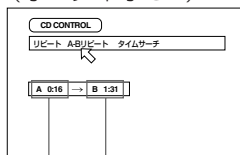
1　再生モードボタンを押す

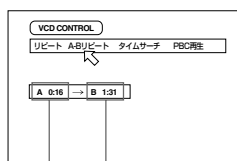
DVD/CD/VCD CONTROL画面が表示されます。

2　カーソル（◀/▶）ボタンを使って[A-Bリピート] に を合わせ、くり返したい部分の頭で、決定ボタンを押す

くり返したい部分の最初のところが「Aポイント」として表示されます。

例：DVDの場合

3　くり返したい部分の終わりで 、決定ボタンを押す

くり返したい部分の終わりのところが「Bポイント」として表示されます。
A-B 間がくり返し再生されます。

（DVD）　（オーディオ CD）

A ポイント B ポイント　A ポイント B ポイント

（ビデオ CD）

A ポイント B ポイント

A-B リピートを解除するには

停止■ボタンを押すと、再生が停止して、A-Bリピートが解除されます。またはカーソル（◀/▶）ボタンを使って画面上の[A-B リピート]に を合わせて決定ボタンを押すと、A-B リピートは解除されますが、再生は続きます。

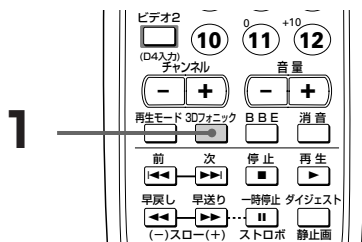
▶▶|または|◀◀ボタンを押しても、A-Bリピートの設定が解除されます。

お知らせ

- **⊘が表示されたときは**
  そのディスクではA-B リピート機能が使えません。
- DVDでは、タイトルをまたがる A-B リピートはできません。
- **再生モード画面を消すには**
  再生モードボタンを押します。
  画面は消えますが A-B リピートの設定は残っています。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-B リピートはできません。

サラウンド感を出す

2本のスピーカーでサラウンドの効果を出すことができます。

サラウンド感を出す[3Dフォニック]

■ 再生中に

1　3Dフォニックボタンを押して、好みの設定を選ぶ

現在の設定

3Dフォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。

3D PHONIC アクション
アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。

3D PHONIC ドラマ
包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。

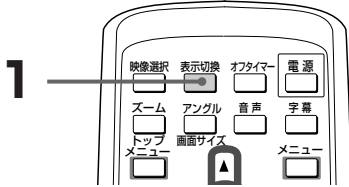
3D PHONIC シアター
ハリウッドの一流映画の音響効果で楽しめます。

* ドルビーデジタルの3チャンネル以上で収録されたDVDの音声を再生中の場合には、「3D PHONICアクション」を設定することはできません。

お知らせ

- ビデオCDの音声を通常のステレオ以外(「L」または「R」)に設定している場合、3Dフォニック機能は働きません(オフ設定になります)。逆に、3Dフォニック機能を使っているときに音声設定を「ステレオ」以外に変えると、3Dフォニック機能がキャンセルされます。
- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルまたはドルビーサラウンドで収録された音声を再生しているときに限り正しい効果を得られます。ただし、ドルビーデジタルでも一部リアの音声成分が収録されていないものがあります。この場合には設定を切り換えられますが、正しい効果が得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDTSビットストリーム信号やドルビーデジタルビットストリーム信号では、3Dフォニック機能が無効になります。
- リニアPCMで収録されたDVDの音声やテレビ、ビデオ1、ビデオ2の音声には、3Dフォニックボタンを押しても動作しません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声」画面にあるダウンミックスとコンプレッションの設定が無効になります。

時間や再生についての情報を見る

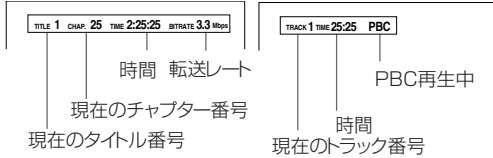
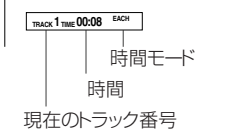
現在再生中のディスクについて、時間や再生についての情報を見ることができます。

■ 再生中に

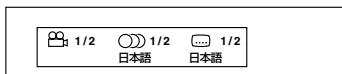
1 表示切換ボタンを押す

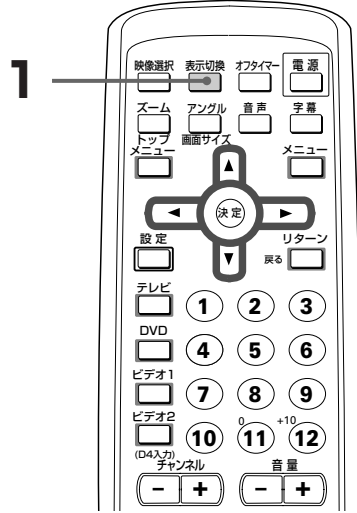
押すごとに次の順序で表示が切り換わります。

表示なし ➡ 時間情報 ➡ DVD情報（DVDのみ） ➡ ソース(DVD)表示

時間情報

(DVD の場合)　　(PBC 再生中のビデオ CD の場合)

(オーディオ CD ／ PBC オフで再生中のビデオ CD の場合)

DVD 情報（DVD のみ）

現在選んでいるカメラアングル、音声言語、字幕言語を表示します。

ディスプレイ表示を消す

オーディオ CD を聴くときや、他のテレビをつないで見るときに、ディスプレイを表示しないようにすることができます。

■ ソース（音源）が DVD のときに

1 表示切換ボタンを約 2 秒押し続ける

ディスプレイの表示が消えます。

ディスプレイを表示させるには

表示切換ボタンを約 2 秒押し続けます。

お知らせ

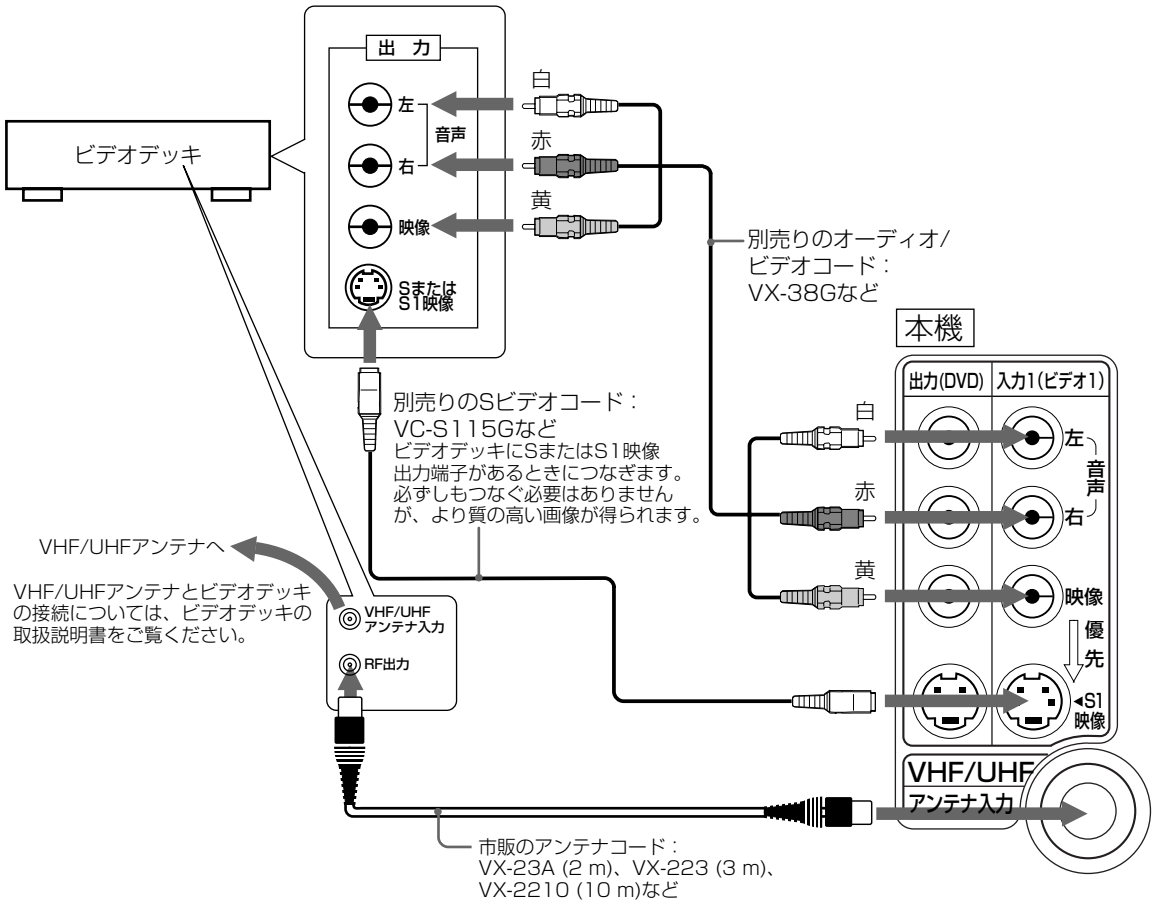
- ソース（音源）を切り換えたときは、自動的にディスプレイが表示されます。
- ディスプレイ表示を消した状態で電源を切ったときは、次に電源を入れたとき、自動的にディスプレイが表示されます。

他の機器を接続する

ご注意

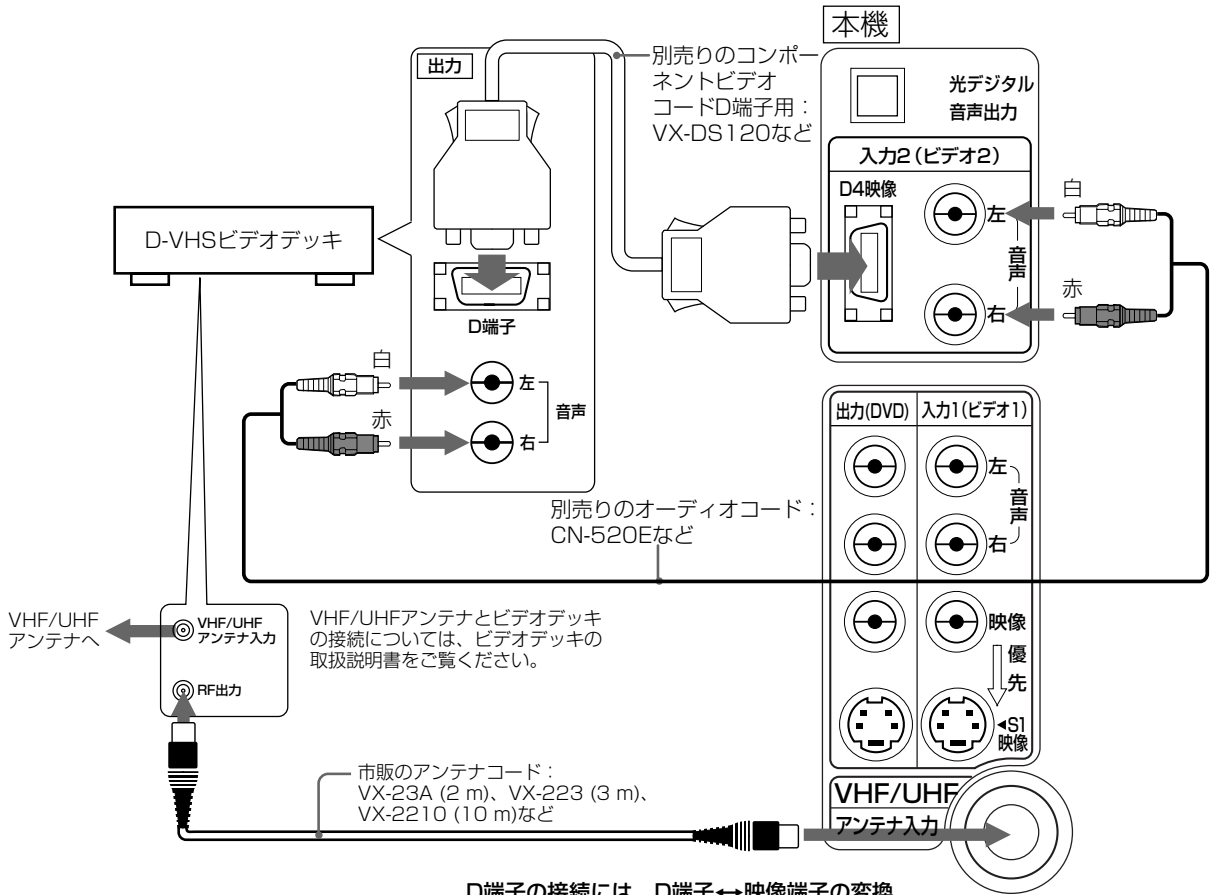
- 接続作業を行うときは、本機、および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ビデオデッキと接続する

下の図を参考にして、正しく接続してください。
ソース（音源）はビデオ１になります。

お知らせ

- **S 映像信号とは**
  従来の映像信号を輝度信号(Y)と色信号(C)に分離した信号です。鮮明でにじみが少ない映像が楽しめます。これにフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳したのがS1映像信号です。
- 映像端子とS1映像端子では、S1映像端子が優先されます。
- **アンテナの接続について**
  VHF/UHF アンテナは上の図のようにビデオデッキ経由で本機に接続してください。

D-VHSビデオデッキと接続する

D端子を備えたD-VHSビデオデッキと接続することができます。
下の図を参考にして、正しく接続してください。ソース（音源）はビデオ2になります。

本機
出力
別売りのコンポーネントビデオコードD端子用：VX-DS120など
光デジタル音声出力
入力2（ビデオ2）
D4映像
左
音声
右
白
赤
D-VHSビデオデッキ
D端子
左
音声
右
白
赤
別売りのオーディオコード：CN-520Eなど
出力(DVD)
入力1(ビデオ1)
左
音声
右
映像
優先
S1映像
VHF/UHFアンテナへ
VHF/UHFアンテナ入力
RF出力
VHF/UHFアンテナとビデオデッキの接続については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
市販のアンテナコード：
VX-23A (2 m)、VX-223 (3 m)、
VX-2210 (10 m)など
VHF/UHFアンテナ入力

D端子コネクタを外すときは

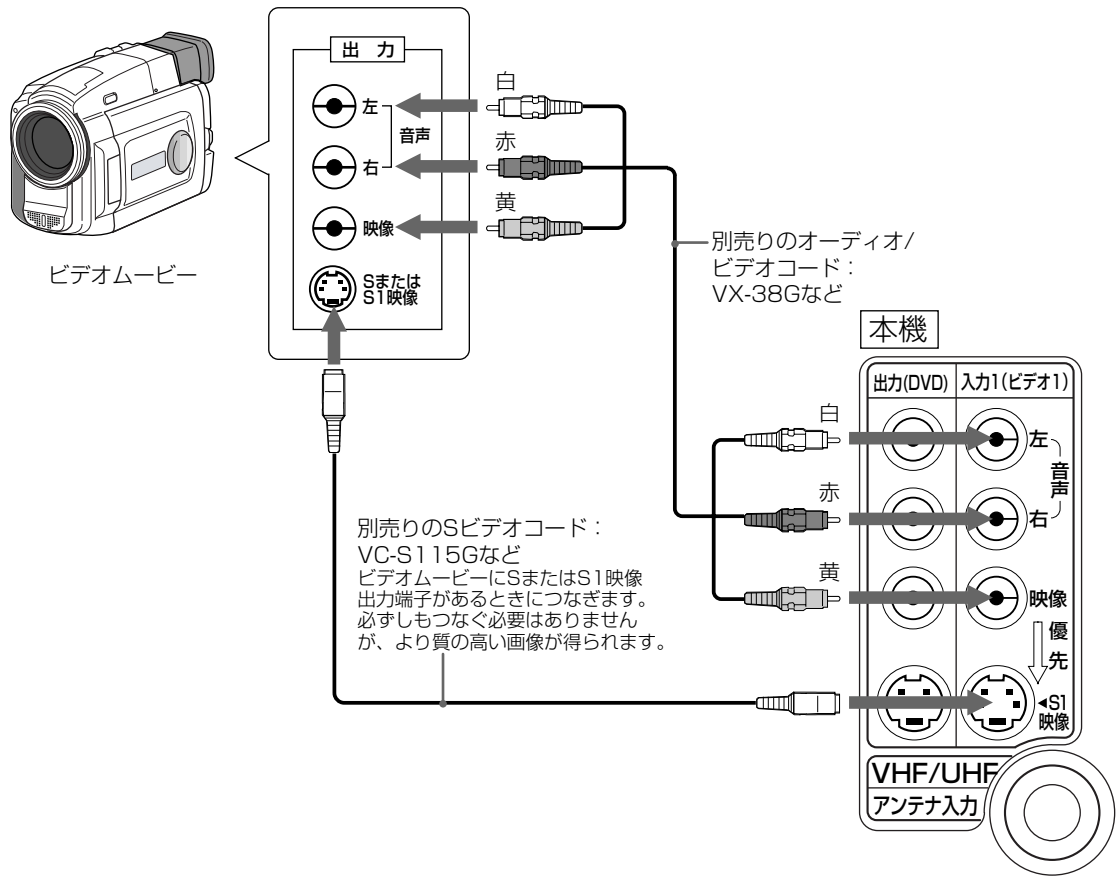
D端子の接続には、D端子↔映像端子の変換ケーブルを使わないでください。

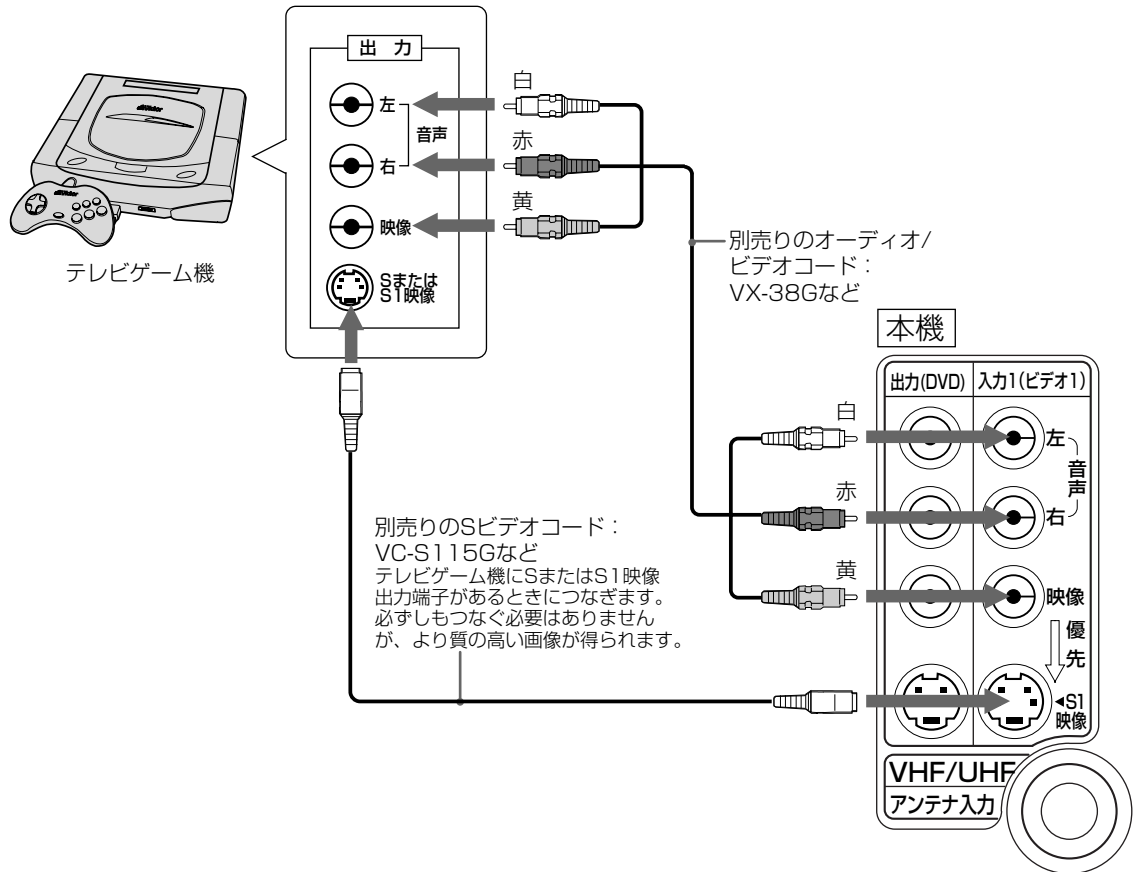
変換ケーブルを使って、本機のD4映像端子と接続すると、サイズ制御信号が受け取れなくなるために映像が流れたり、表示されなくなったり、正規の画像サイズで表示されなくなることがあります。

お知らせ

- **D端子とは**
  BSデジタル放送を受信するためのBSデジタルチューナーや、BSデジタル放送の周辺機器に対応した規格の端子です。D端子は機器が出力できる信号の種類（フォーマット）により、D1からD5までに分けられます。
  本機はD4端子を備え、D4、D3、D2、およびD1のD端子に対応しています。
- 本機はD4端子のサイズ制御信号に従って、画面サイズを自動的に切り換えます。
- 1125i、または750pの場合、液晶の画素数の関係で所定の解像度は出ません。

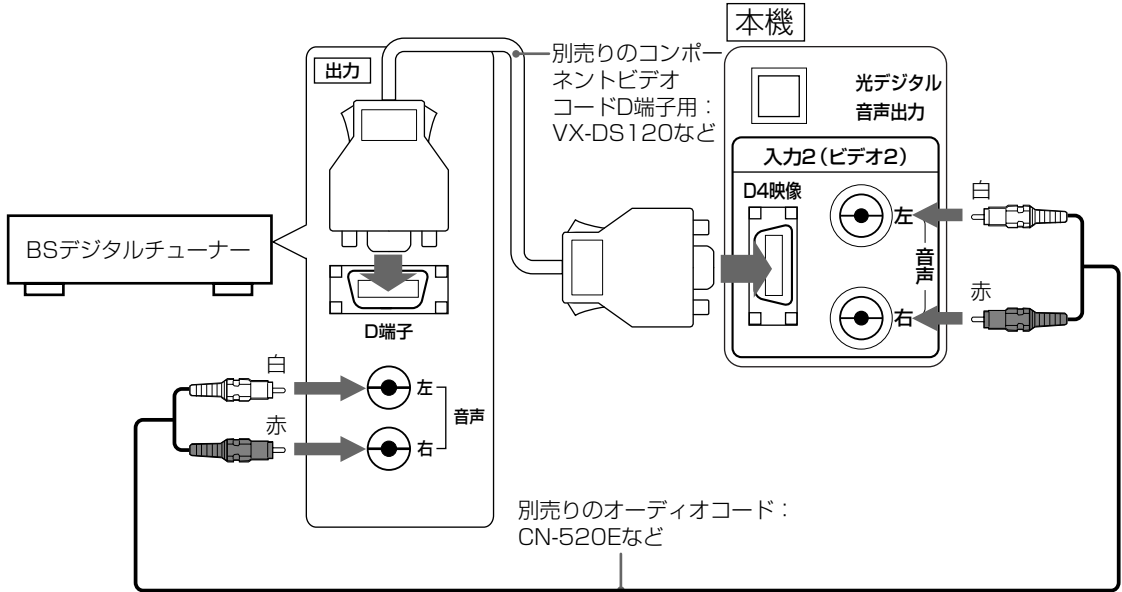
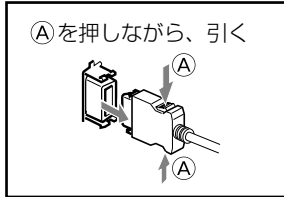
ビデオムービーと接続する

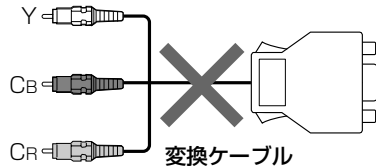
下の図を参考にして、正しく接続してください。ソース（音源）はビデオ 1 になります。

テレビゲーム機と接続する

下の図を参考にして、正しく接続してください。ソース（音源）はビデオ 1 になります。

お知らせ

- ゲームの種類の中でピストルを使った「シューティングゲーム」はできません。

BSデジタルチューナーと接続する

下の図を参考にして、正しく接続してください。ソース（音源）はビデオ２になります。

D端子コネクタを外すときは

D端子の接続には、D端子↔映像端子の変換ケーブルを使わないでください。

変換ケーブルを使って、本機のD4映像端子と接続すると、サイズ制御信号が受け取れなくなるために映像が流れたり、表示されなくなったり、正規の画像サイズで表示されなくなることがあります。

お知らせ

- **D 端子とは**
  BS デジタル放送を受信するためのBS デジタルチューナーや、BS デジタル放送の周辺機器に対応した規格の端子です。D 端子は機器が出力できる信号の種類（フォーマット）により、D1 からD5 までに分けられます。
  本機は D4 端子を備え、D4、D3、D2、および D1 の D 端子に対応しています。
- 本機は D4 端子のサイズ制御信号に従って、画面サイズを自動的に切り換えます。
- 1125i、または 750p の場合、液晶の画素数の関係で所定の解像度は出ません。

ほかのテレビと接続する

本機の映像を、ほかのテレビで見ることができます。

見られるのは DVD の映像のみです。

下の図を参考にして、正しく接続してください。

ほかのテレビ

入 力

左 右 音声

映像

Sまたは S1映像

白

赤

黄

別売りのオーディオ/ビデオコード：VX-38Gなど

本機

出力(DVD) 入力1(ビデオ1)

左 右 音声

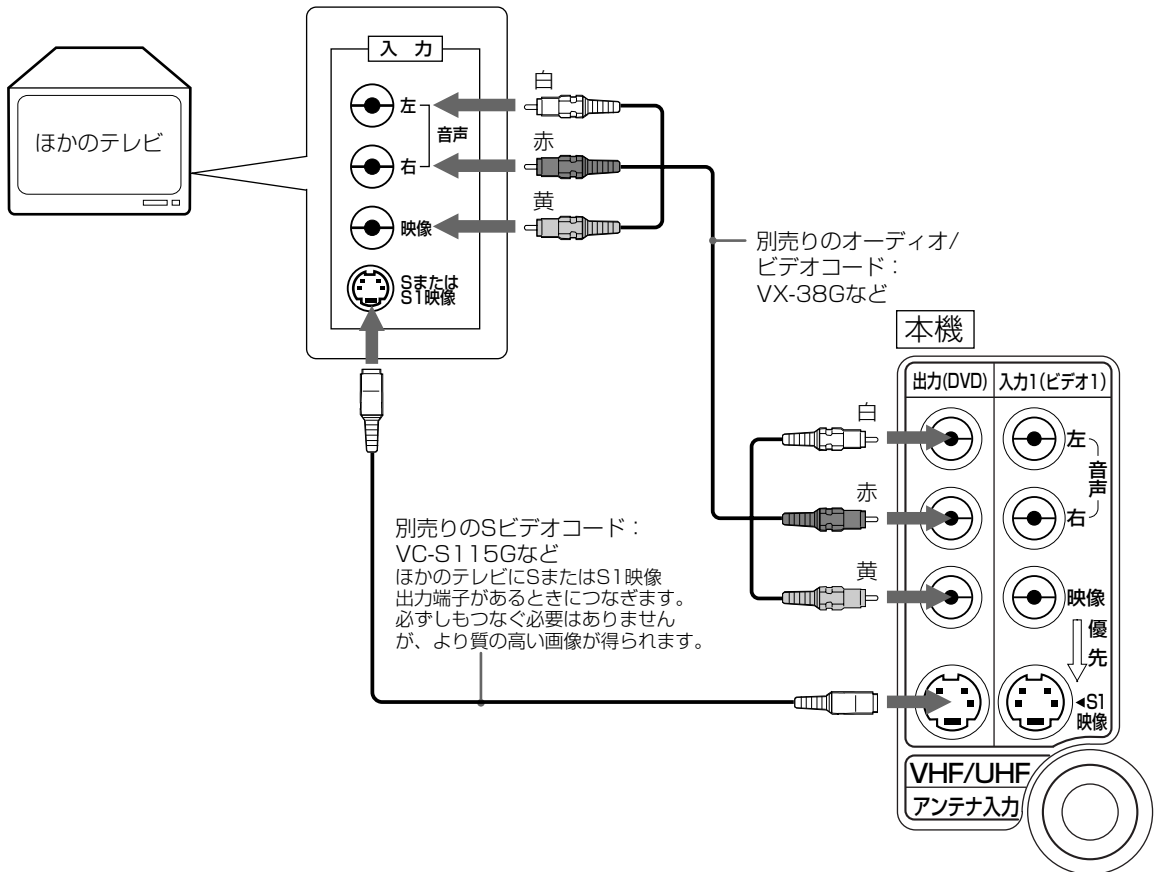
映像

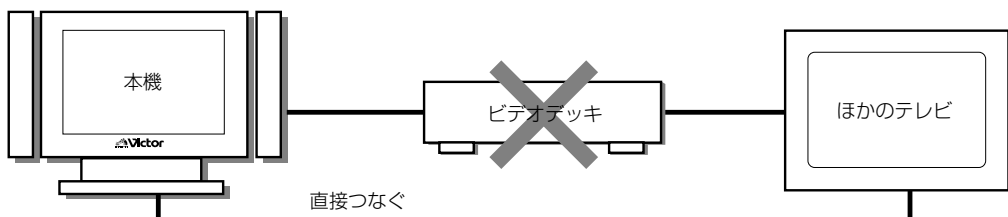
優先

◀S1映像

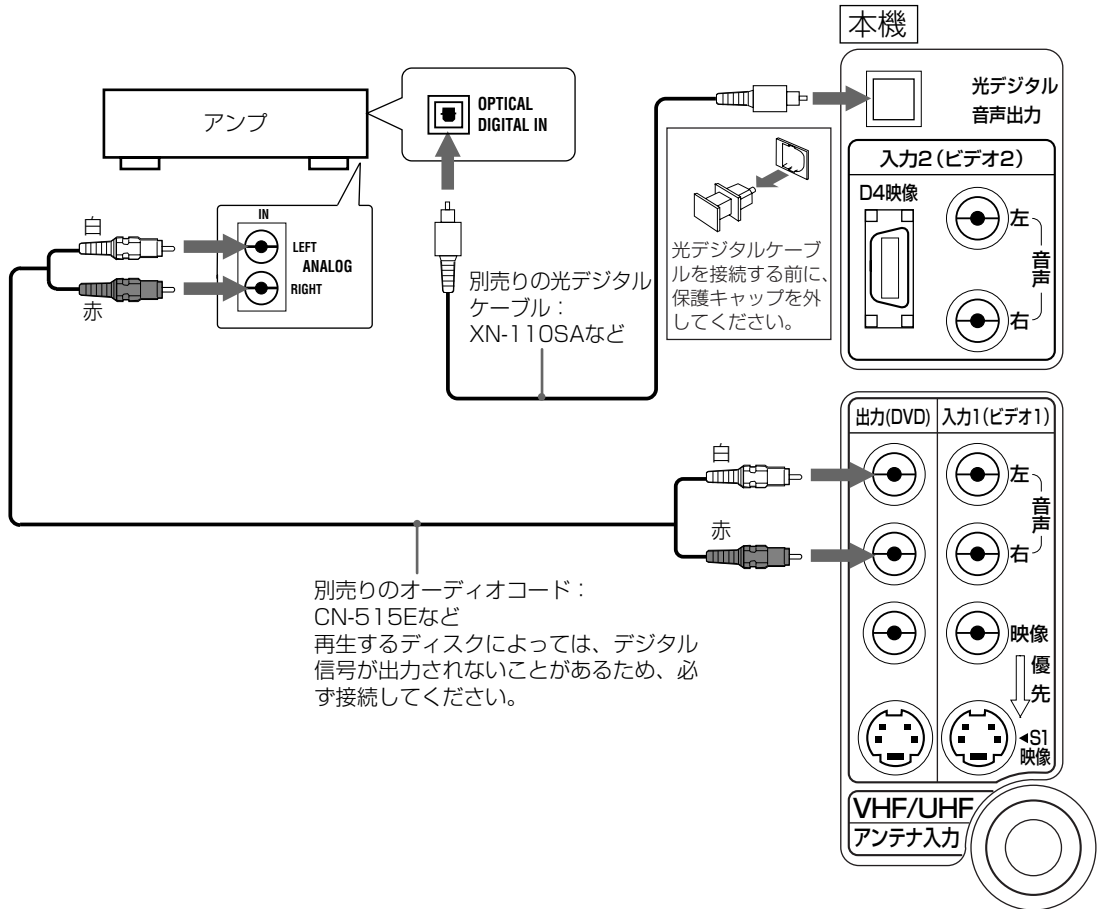
VHF/UHF アンテナ入力

別売りのSビデオコード：VC-S115Gなど

ほかのテレビにSまたはS1映像出力端子があるときにつなぎます。必ずしもつなぐ必要はありませんが、より質の高い画像が得られます。

お知らせ

- 映像端子とS1映像端子では、S1映像端子が優先されます。
- **ほかのテレビが 16:9 のワイド画面に対応していないとき**
  「設定メニュー」の「DVD 設定」→「システム」で画面サイズをレターボックス、またはパンスキャンに設定してください。☞ 71 ページ。
- 本機のディスプレイ表示を消すことができます☞ 56 ページ。
- 本機の映像出力は、直接テレビとつないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生時に映像が乱れることがあります。

デジタル音声入力端子付きのアンプと接続する

本機で再生したディスクの音声信号をデジタルのままアンプへ送ることができます。またドルビーデジタルやDTS デコーダー内蔵アンプと接続することにより、高音質のサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

下の図を参考にして、正しく接続してください。

接続が終わったら‥

「初期設定」の「DVD設定」→「音声設定」でデジタルOUT（アウト）設定を、接続したアンプに合わせて切り換えてください ☞ 69 ページ。

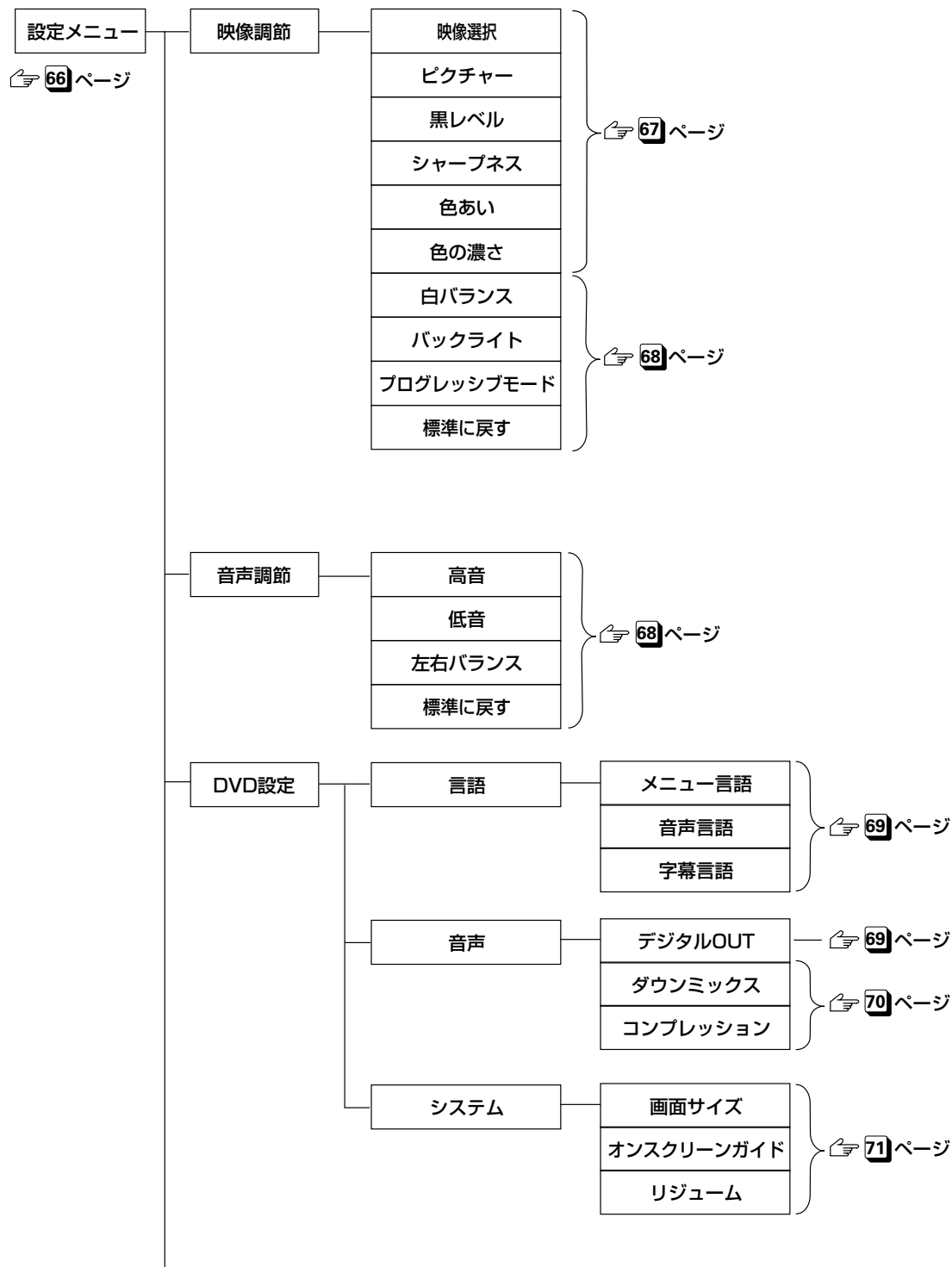
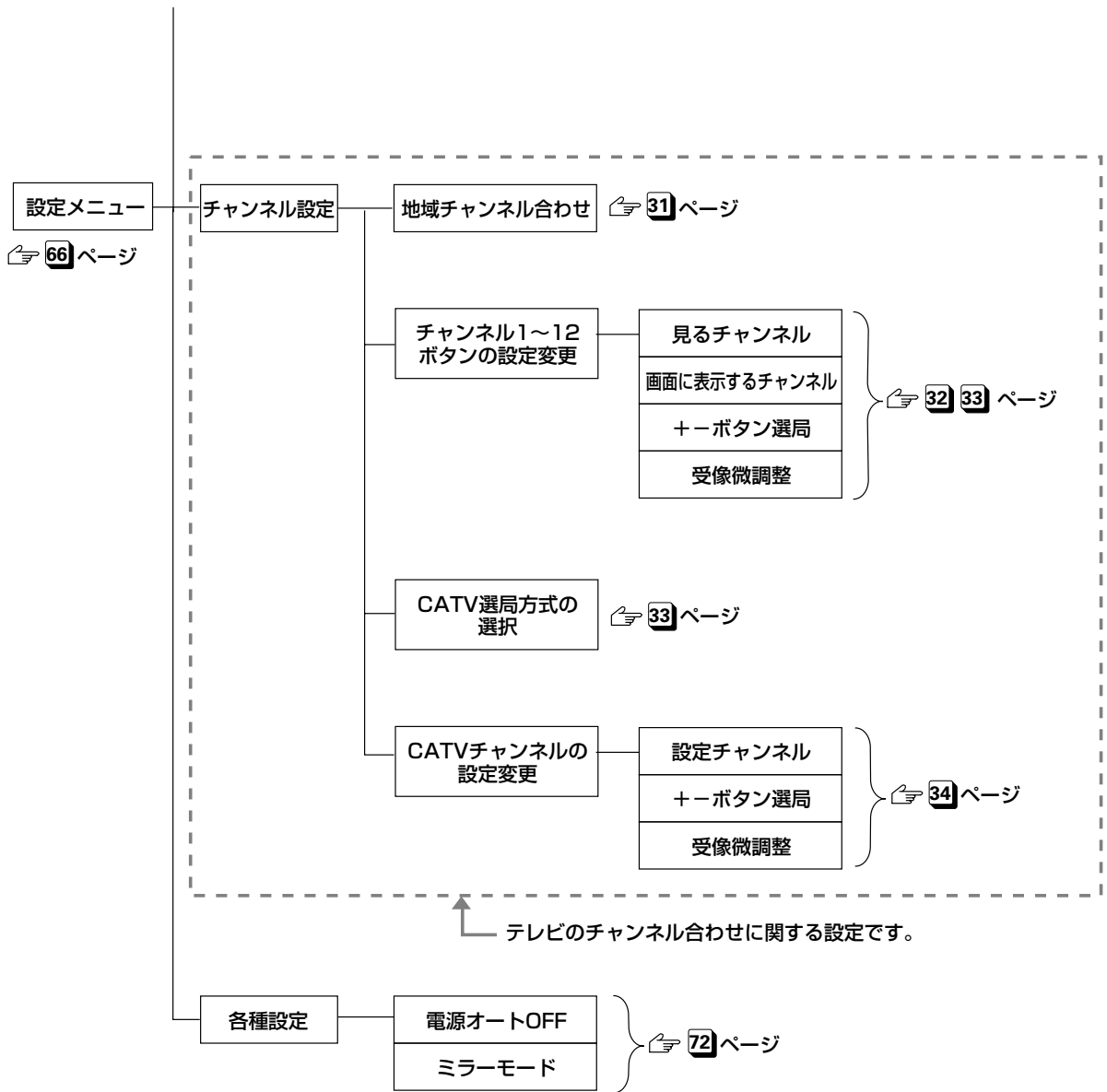
お知らせ

- DTS（Digital Theater Systems）（デジタル シアター システムズ）とは
  サラウンド方式の１つで、豊富なデータ量で、高音質のサラウンド再生ができます。
  信号のチャンネル数は、5.1チャンネルですがデジタル録音時の音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、音に厚みのある高S/Nの再生が可能になっています。また、ダイナミックレンジが広くセパレーションに優れるなど緻密で雄大なサウンドが特長です。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持ったアンプと接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の初期設定画面の「音声」にあるコンプレッション設定は無効となります。☞ 70 ページ。

いろいろな設定をする

初期設定画面を使うと、いろいろな設定を行うことができます。

初期設定画面一覧

本機には以下のような初期設定画面があります。☞ ❑ のページに詳しい説明があります。

初期設定で設定した内容は、電源コードをコンセントから抜いても保存されています。

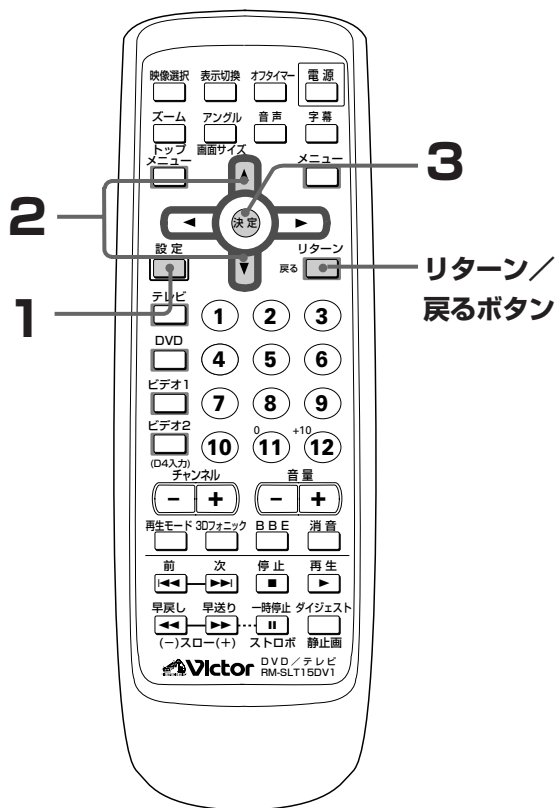
初期設定画面での基本操作

■ 電源「入」の状態で

1　設定ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2　カーソル（▲/▼）ボタンを使って項目を選ぶ

カーソル（▲/▼）ボタンを使って、設定したい項目に を合わせます。

3　決定ボタンを押す

選んだ項目の画面が表示されます。

例：「映像調節」画面

4　以下、画面下に表示される操作ガイドに従って操作する

「DVD 設定」は、以下のときに限り設定できます。

- DVD またはビデオ CD 停止中
- ディスクがセットされていないとき

「映像調節」画面

映像調節	
映像選択	◁スタンダード▷
ピクチャー	◁ 00 ▷
黒レベル	◁ 00 ▷
シャープネス	◁ 00 ▷
色あい	◁ 00 ▷
色の濃さ	◁ 00 ▷
白バランス	◁ 高い ▷
バックライト	◁ 00 ▷
プログレッシブモード	◁フィルム▷
標準に戻す	
△▽で選択 ◁▷で設定 戻るで前画面 設定で終わる	

映像選択

ご覧になっている番組やお部屋に最も適した映像を設定します。

- **スタンダード：**
  ふつうの部屋でテレビを見るときに最適です。
- **ダイナミック：**
  明るい部屋で明暗のはっきりした映像を見るときに最適です。
- **シアター：**
  照明を押さえた部屋で映画番組や映画ソフトを見るときに最適です。
- **ゲーム：**
  テレビゲームを楽しむときに最適です。

ピクチャー

お部屋の明るさに合わせて画像を見やすい明るさや濃さに調節します。調整値は－ 30 ～＋ 30 です。

- **薄く：**
  画像を薄くします。
- **濃く：**
  画像を濃くします。

黒レベル

映像の黒色を調節します。調整値は－ 30 ～＋ 30 です。

- **暗く：**
  黒色を強くし、画像を暗くします。
- **明るく：**
  黒色を弱くし、画像を明るくします。

シャープネス

画像の鮮明さを調節します。調整値は－30～＋30です。

- **やわらか：**
  画面を柔らかな感じにします。
- **くっきり：**
  画面をくっきりした感じにします。

色あい

画像の色あいを調節します。肌色が自然な感じになるのが目安です。調整値は－ 30 ～＋ 30 です。

- **赤っぽく：**
  色あいを赤っぽい感じにします。
- **緑っぽく：**
  色あいを緑っぽい感じにします。

色の濃さ

色の濃さを調節します。調整値は－ 30 ～＋ 30 です。

- **濃く：**
  色を濃くします。
- **薄く：**
  色を薄くします。

（次ページへつづく）

白バランス

映像の基準となる白の色温度を設定します。
- **高い色温度：**
  青みが強くなり、爽やかさが強調されます。
- **低い色温度：**
  赤みが強くなり、暖かみが強調されます。

バックライト

液晶パネルの輝度を調節します。調整値は－30～＋30です。
- **明るく：**
  バックライトを明るくします。
- **暗く：**
  バックライトを暗くします。

プログレッシブモード

プログレッシブモードを設定します。
プログレッシブモードは、ビデオ2入力が525p、1125i、750pのときは選択できません。
- **フィルム**
  通常はこの設定で使用してください。
- **ビデオ**
  「フィルム」だと映像が不安定なとき、このモードを選んでください。

標準に戻す

映像調節をお買い上げ時の設定（標準設定）に戻します。

「音声調節」画面

高音

音声の高音のレベルを調節します。カーソル（◀）ボタンを押すごとに高音のレベルは小さくなります。カーソル（▶）ボタンでを押すごとに高音のレベルは大きくなります。－5～+5の間で調節できます。

低音

音声の低音のレベルを調節します。カーソル（◀）ボタンを押すごとに低音のレベルは小さくなります。カーソル（▶）ボタンを押すごとに低音のレベルは大きくなります。－5～+5の間で調節できます。

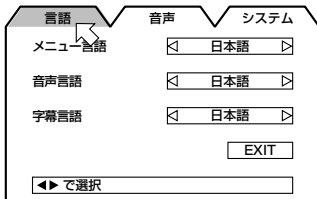
左右バランス

音の左右のバランスを調節します。カーソル（◀）ボタンを押すごとに左の音が強くなります。
カーソル（▶）ボタンを押すごとに右の音が強くなります。L（左）10～R（右）10の間で調節できます。

標準に戻す

音声調節をお買い上げ時の設定（標準設定）に戻します。

「DVD設定」画面

DVDに関する初期設定を行います。ソース（音源）をDVDにし、見たいディスクを再生停止状態にして設定してください。DVDの設定画面には「言語」、「音声」、「システム」の３つの画面があり、画面の上部にあるそれぞれのタグに↖を合わせて画面を切り換えます。

お知らせ

- オーディオCDのときは設定できません。

「言語」画面

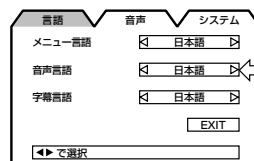
メニュー言語

DVDビデオには複数の言語によるメニュー画面が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語でメニュー表示するか決めておくことができます。
カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。
お買い上げ時は「日本語」になっています。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード ☞ 81 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されているメニュー言語で表示されます。

音声言語

DVDには複数の音声言語が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの音声言語で再生するかを決めておくことができます。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。
お買い上げ時は「日本語」になっています

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード ☞ 81 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されているメニュー言語で表示されます。

字幕言語

外国映画などのDVDビデオには複数の言語で字幕が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語を表示するか決めておくことができます。

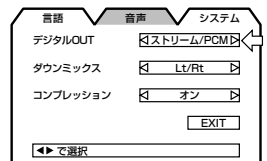
カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。また カーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。
お買い上げ時は「日本語」になっています

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード ☞ 81 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されているメニュー言語で表示されます。

「音声」画面

デジタル OUT

デジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定を合わせる必要があります。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません。
お買い上げ時は「ストリーム／PCM」になっています

- **ストリーム /PCM :**
  DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプまたはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **PCM のみ :**
  リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDデッキ、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。

（次ページにつづく）

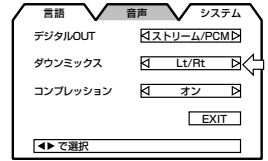
- DOLBY DIGITAL/PCM：
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。

ディスクの種類と出力信号の関係は次の表をご覧ください。

[参考]

再生ディスク	出力		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットのリニアPCM		
48kHz、20または24ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、20ビットのリニアPCM		
96kHz、リニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	出力しない	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットのリニアPCM
MPEGのDVDビデオ	MPEGビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
オーディオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		
ビデオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		

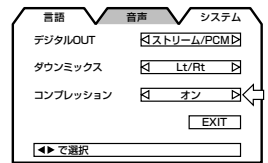
ダウンミックス

サラウンドオーディオで収録されたDVDを正しく再生するために、接続する機器に合わせて音声出力端子（アナログ音声出力"AUDIO OUT"）から出力される信号を切り換えます。この設定は、サラウンドオーディオで収録されたDVDを外部アンプで再生するときにのみ影響します。
お買い上げ時はLo/Roになっています。

- Lo/Ro　：本機の音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続してステレオ音声を楽しむときに、この設定にします。また、サラウンドオーディオで収録されたDVDの音声をMDやカセットテープに録音するときにも、この設定にします。
- Lt/Rt　：本機の音声出力をサラウンドデコーダー（または内蔵アンプ）に接続してサラウンドオーディオを楽しむときにこの設定にします。

お知らせ

- 3Dフォニック機能が働いているときは、ダウンミックスは機能しません。
- 音声出力端子（アナログOUT）を使用しないときは、Lo/Roに設定してください。

コンプレッション

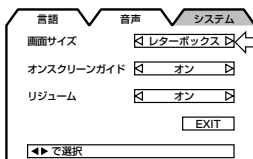
必要に応じてダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の音量差）を抑えることができます。お買い上げ時は「オン」になっています。

- **オン**　：ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で映画を楽しみたいときなど、音が聞き取りやすくなります。
- **オフ**　：DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。

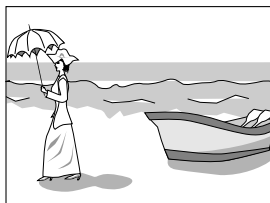
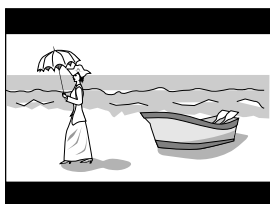
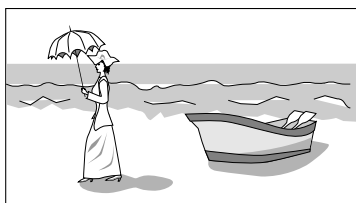
お知らせ

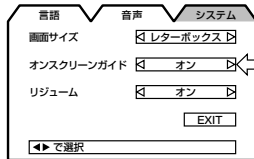
- コンプレッション機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスクを再生しているときにのみ働きます。
- 3Dフォニック機能が働いているときは、コンプレッションは機能しません。

「システム」画面

画面サイズ

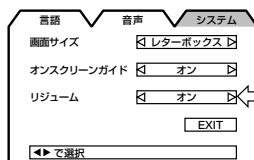
DVDの映画ソフトの多くは、ワイドテレビ（縦横比16：9の横長テレビ）用の映像が収録されています。その映像を通常のテレビ（縦横比4：3）に映すときの変換方式として「パンスキャン」か「レターボックス」の2種類があります。この2種類の変換方式がディスクに収録されているとき、どちらの変換方式で映すかを選択できます。

外部テレビを接続した場合、ワイドテレビなら「ワイド(S1)」を、通常のテレビなら「レターボックス」または「パンスキャン」を選択してください。
テレビを接続しないで、本機のディスプレイを使う場合、「レターボックス」「ワイド(S1)」設定時はレターボックス処理、「パンスキャン」設定時はパンスキャン処理を行います。

- **パンスキャン**
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません（ただし、ディスクによってはこのように変換されないことがあります）。

- **レターボックス**
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。

- **ワイド（S1）**
  ワイドテレビ（縦横比16：9の横長テレビ）と接続したときや、外部テレビを接続しない場合に、この設定にします。本機のディスプレイはレターボックスで表示されますが、「レターボックス」設定のときより高画質になります。

オンスクリーンガイド

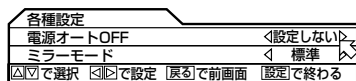
本機には再生している映像に重ねてマークや文字などを表示させる機能があります。表示されたマークや文字によってディスクの収録状態を把握したり、本機の動作状態を把握することができます。またこれらの表示を出さないようにすることもできます。
お買い上げ時は「オン」になっています。

- **オン：** マークや文字が表示されます。
- **オフ：** マークや文字が表示されません。

例：など
36 ページ

リジューム

リジューム機能（39 ページ）のオン／オフを選びます。
お買い上げ時は「オン」になっています。

- **オン**　：　リジューム機能が働きます。
- **オフ**　：　リジューム機能が働きません。

「各種設定」画面

その他の初期設定を行います。

電源オートOFF

テレビ、ビデオ1、ビデオ2で4分間無信号の状態、またはDVDで30分間停止状態が続いたときに、電源を自動的に切るかどうかを設定します。お買い上げ時は［設定しない］になっていますが、節電のため、「設定する」にすることをおすすめします。

- **設定する**　：上記の状態になったとき、本機の電源を切ります。
- **設定しない**：電源オートOFFを行いません。

お知らせ

- 同じ画像を長時間表示していると、ごくまれに画面に残像のような模様が見えることがあります。
  電源オートOFFを「設定する」にしておくと、このような現象を防止することができます。

ミラーモード

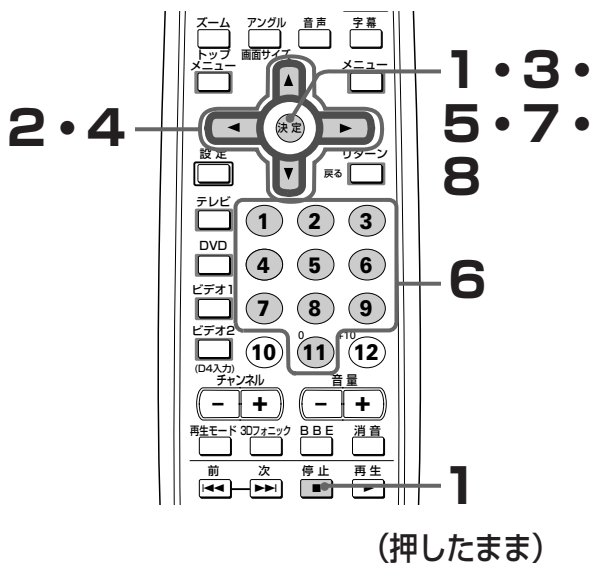
映像を左右反転で表示する設定です。鏡越しにディスプレイを見たいときに便利な機能です。お買い上げ時は［標準］になっています。

- **左右**　：映像を左右反転で表示します。
- **標準**　：映像を左右反転しません。

過激なシーンをカットする[パレンタルロック]

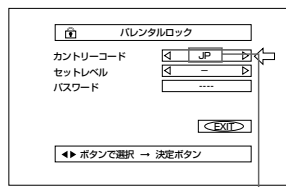
たとえば過激なシーンを含むDVD を再生する場合に過激なシーンだけをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。これを「パレンタルロック」といいます。
パレンタルロックは、パレンタルロックが設定されているディスクに対してのみ有効です。

パレンタルロックを設定する

DVD

■ DVD停止中、またはディスクが入っていないときに

1　停止ボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。
⇦が[カントリーコード]を指しています。

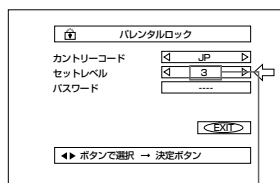
2　カーソル（◄/►）ボタンを使ってカントリーコードを選ぶ

カントリーコード　例：JP (Japan)

カントリーコード一覧 ☞ 82 ページ

3　決定ボタンを押す

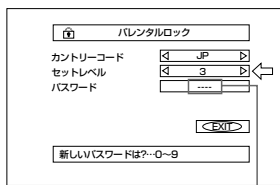
⇦が[セットレベル]に移動します。

4　カーソル（◄/►）ボタンを使ってセットレベルを選ぶ

「レベル 1」〜「レベル 8」の中から選びます。「レベル—」がパレンタルロックを全くしない設定です。設定したレベル値以上のレベルのDVD を再生できなくなります。したがってレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

レベルの選択

5　決定ボタンを押す

⇦が[パスワード]に移動します。

6　数字ボタン（1〜9、11[0]）を使って任意のパスワード（4 ケタの数字）を入力する

パスワードの入力

11 ボタンは 0 として扱われます。

7　決定ボタンを押す

パレンタルロックのレベルとパスワードが設定されます。
⇦が[EXIT]に移動します。

8　もう一度決定ボタンを押す

オープニング画面に戻って設定が完了します。

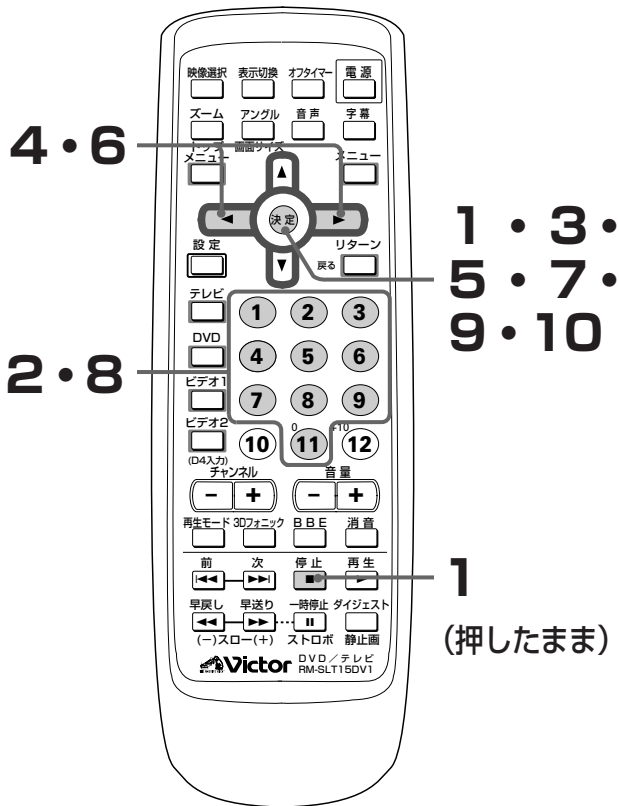
パレンタルロックを変更する

DVD

パレンタルロックの設定を変更することができます。

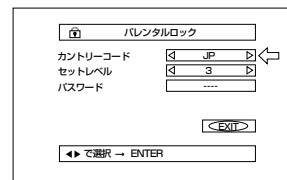
■ DVD停止中、またはディスクが入っていないときに

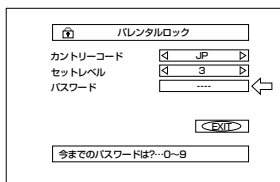
1　停止ボタンを押したまま決定ボタンを押す

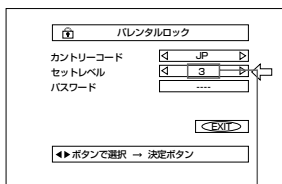
パレンタルロック画面が表示されます。
⇦が[パスワード]を指しています。

2　数字ボタン(1〜9、11[0])を使って今までのパスワードを入力する

お知らせ

- 今までのパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。今までのパスワードが無効になり、新しくパスワードを再設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき⇦が[EXIT]に移動しますので、決定ボタンを押してもう一度最初からやり直してください。

3　決定ボタンを押す

正しいパスワードを入力すると⇦が[カントリーコード]に移動します。
間違って入力した場合は、「違います。やり直してください」と表示されますのでもう一度入力してください。

4　カーソル(◀/▶)ボタンを使ってカントリーコードを変更する

5 決定ボタンを押す

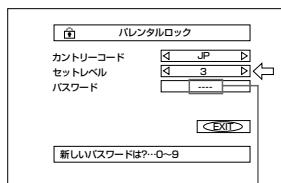
⇦が[セットレベル]に移動します。
カントリーコードを変更した場合、セットレベルも設定し直してください。

レベルの選択

6 カーソル（◀/▶）ボタンを使ってセットレベルを変更する

7 決定ボタンを押す

⇦が[パスワード]に移動します。

8 数字ボタン（1〜9、11[0]）を使って新しいパスワードを入力する

11 ボタンは 0 として扱われます。

パスワードの入力

9 決定ボタンを押す

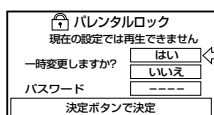
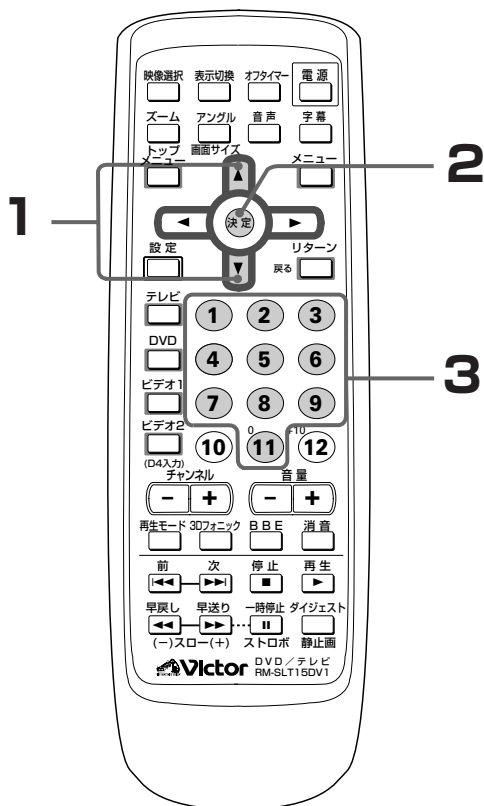
⇦が[EXIT]に移動します。
ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくない場合は同じパスワードを入力してください。
カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作（パスワード入力→決定ボタン）を行なってください。この操作をやらないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

10 もう一度決定ボタンを押す

オープニング画面に戻って設定が完了します。

パレンタルロックを一時解除する

DVD

パレンタルロックを厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除するかどうかを選ぶ画面が表示されます。

が表示されたら

1 カーソル（▲/▼）ボタンを使って「はい」に⇦を合わせる

2 決定ボタンを押す

「はい」を選ぶと、⇦ が［パスワード］に移動します。
「いいえ」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。

3 設定されているパスワードを数字ボタン（1～9、11[0]）を使って入力する

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度入力してください。

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

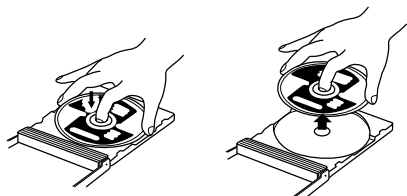
お知らせ

- パスワードの入力を３回間違えると、⇦は［いいえ］に移動し、カーソル（▲/▼）ボタンは働かなくなります。決定ボタンを押してパレンタルロック画面から抜け、ディスクを取り出してください。

ディスクの取り扱いとお手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷をつけないでください。

- ディスクの信号面（文字の書かれていない面）を汚したり、ラベル面（文字の書かれている面）に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ご注意

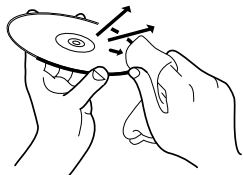
- **壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないで**
  ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角型など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は本機に入れないでください。故障の原因となることがあります。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

本体の掃除

- パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから**からぶき**してください。

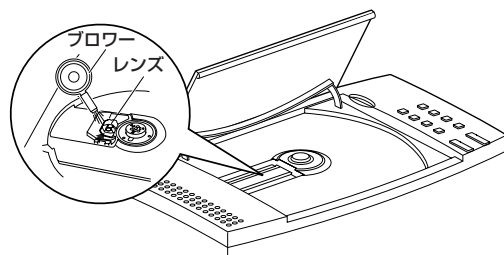
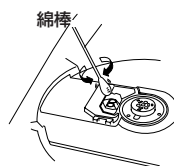
ご注意

- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

ディスプレイのお手入れについて

- 本機は液晶表示パネルを使用していますので、画面を強く押したり、物をぶつけたりすると破損するおそれがあります。お手入れの際は水や洗剤をつけないで、柔らかい布で**からぶき**してください。
- 水分がパネルに入ると故障の原因となることがあります。

DVDプレーヤーのレンズのクリーニング

- DVDプレーヤーのレンズの汚れは、映像の乱れや音飛びの原因となります。ディスクカバーを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

・ほこりなどは、市販のクリーニングキットのブロワーではき出してください。

・万一、レンズに指紋などが付いているときは、市販の綿棒でふき取ってください。

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点をお確かめください。

症　状	原　因	処　置
全　般		
電源が入らない。	電源がコンセントから抜けている。	電源プラグをしっかりと差し込む。
リモコンが働かない。	本体と離れすぎている。 本体のほうに向いていない。	リモコン受光部に向けて約5m以内で障害物を避けて送信する。
	電池が消耗している。	電池を交換する。☞ 24 ページ
	電池の極性（＋／－）が違う。	電池を正しく入れ直す。☞ 24 ページ
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	直射日光をさえぎる。
音がでない。	スピーカーコードが正しく接続されていない。	スピーカーコードを正しく接続する。
	ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっている。	ヘッドホン端子を抜く。
	消音になっている。	もう一度消音ボタンを押す。
色が出ない／おかしい。	色あいや色の濃さの調整がズレている。	映像調節をする。☞ 67 ページ
正しく動作しない。	雷や電子ノイズでマイコンが誤動作している。	いったん電源を切り、電源コードを接続し直す。
	暖房をはじめた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって製品内部に水滴がついている。	いったん電源を切り、約1～2時間してから電源を入れ直す。
突然電源が切れた。	オフタイマーにセットされている。	オフタイマーを解除する。☞ 27 ページ
	電源オートOFFが設定されている。	電源を自動で「切」にしたくない時は、電源オートOFFを解除する。☞ 72 ページ
DVD関係		
映像がでない。	入力ソースの選択が間違っている。 リモコンの表示切換ボタンを長押ししたため、表示を消すモードになっている。	リモコンのDVDボタンを押して、入力ソースをDVDにする。 もう一度リモコンの表示切換ボタンを長押しする。
96 kHz、リニアPCMオーディオで記録されたDVDディスクを再生すると音が出ない。	本機のオーディオ出力としてデジタル音声出力端子を使っている。	このタイプのDVDディスク再生時は音声出力端子を使う（デジタル音声出力端子からはオーディオが出力されない）。
再生できない。	NTSC方式以外のディスクが入っている。 本機とディスクのリージョン番号が異なっている。	ディスクを取り換える。 再生できるディスクは、「操作上の予備知識（☞ 17 ページ）」をご覧ください。
映像が乱れる／音声がひずむ。	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
ほかのテレビを接続したとき、そのテレビの映像の端が欠けている。	画面サイズの設定が間違っている。	画面サイズの設定を正しくする。 ☞ 71 ページ

症　状	原　因	処　置
テレビ関係		
VHF/UHFが映らない。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しく接続する。☞ 21 ページ
	チャンネル合わせが正しくできていない。	チャンネルを正しく合わせる。☞ 30 ページ
画面に残像のような模様が出る。	同じ画像を長時間表示している。	電源オートOFFを設定する。☞ 72 ページ

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、以上の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 86 ページ)の項をお読みの上、修理を依頼してください。

別売りアクセサリー

- オーディオ/ビデオコード　：VX-38G (1.5 m)
- オーディオコード　：CN-515E (1.5 m)
  ：CN-520E (2 m)
- 光デジタルケーブル　：XN-110SA (1 m)
- コンポーネントビデオコード(D端子用)：VX-DS120 (2 m)
- Sビデオコード　：VC-S115G (1.5 m)
- アンテナコード　：VX-23A (2 m) / VX-223 (3m) / VX-2210 (10 m)
- ヘッドホン　：HP-F300C(ダイナミック型)

- 別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

ご注意

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

蛍光管について

本機で使用している蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットと取り換えてください。

寿命の目安 ..... 約60,000時間(明るさの設定が標準の場合)

くわしくは、販売店にお問い合わせください。

※ご使用の初期において、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本機の電源スイッチをいったん「切(スタンバイ)」にし、再度電源を入れ直して確認してください。

主な仕様 －本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。－

一般

種別	DVD付き液晶パネルテレビ
型名	LT-15DV1
使用電源	AC 100V
消費電力	電源「入」時　105W 「切」（スタンバイ）時 0.5W
質量	14.2 kg
外形寸法	(幅) 397 mm x (高さ) 346 mm x (奥行) 292 mm (スピーカー、ブラケット除く) (幅) 487 mm x (高さ) 346 mm x (奥行) 292 mm (スピーカー、ブラケット含む)

液晶パネル

画面サイズ	15型（アスペクト比4:3）
画素数	921,600（縦 480 x 横 640 x 3）　（有効画素率 99.999%以上）
駆動方式	アクティブマトリックスTFT

テレビ受信

受信チャンネル	VHF: 1～12 / UHF: 13～62 / CATV: C13～C38
アンテナ端子	VHF/UHF : 75Ω、F型

入力端子

入力1(ビデオ1)	S1端子 映像端子 音声端子	Y入力 C入力 1.0 Vp-p/75Ω 500mVrms/47KΩ	1.0 Vp-p/75Ω 0.286 Vp-p/75Ω
入力2(ビデオ2)	D4端子 音声端子	Y入力 Pb、Pr入力 SYNC 525i/525P SYNC 750P/1125i 500mVrms/47KΩ	0.7 Vp-p/75Ω ±0.35 Vp-p/75Ω 0.3 Vp-p（Yに重畳） ±0.3 Vp-p（Yに重畳）

出力端子

出力(DVD)	S1端子 映像端子 音声端子	Y出力 C出力 1.0 Vp-p/75Ω 2.0Vrms	1.0 Vp-p/75Ω 0.286 Vp-p/75Ω
その他	ヘッドホン端子：1系統、ø3.5 mmステレオミニ（適合インピーダンス 16Ω～1kΩ） デジタル音声出力端子：1系統、光角形ジャック（－21dBm～－15dBm）		

オーディオ特性

実用最大出力	総合60W (15W x 4) (EIAJ)
再生周波数帯域	40Hz～20kHz

スピーカー

付属スピーカー	10.5 cm x 2.0 cm（DDスピーカー） /4Ω　2個
内蔵ウーハー	ø11 cm/4Ω　2個

・EIAJ は日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

言語コード一覧

字幕や音声の言語は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

コード	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧表です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d’Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People’s Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People’s Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia

LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama

PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand

TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)-638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

1001

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（84ページ）をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

78ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	パーソナルDVD テレビシステム
型　名	LT-15DV1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検などの作業にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したたため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

用語索引

LT-15DV1　パーソナルDVD TVシステム　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
84 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京　☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪　☎(06) 6765-4161 FAX(06)6765-4891 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1　☎ (027)254-8952

0801SKMDTESAN